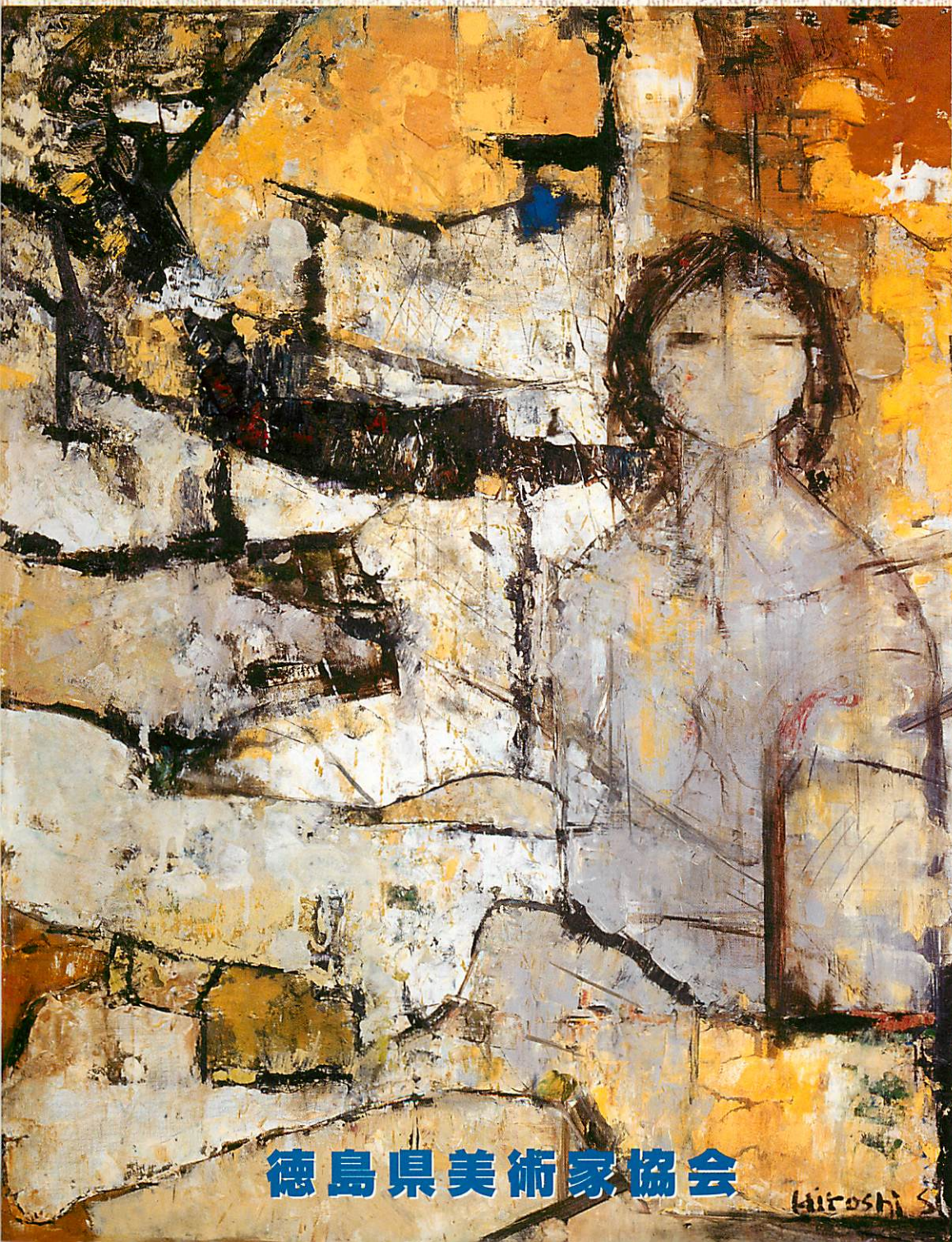


# 美術年報

2000



徳島県美術家協会

Hirosaki S.

徳島県美術家協会美術年報



# 目 次

はじめに .....	徳島県美術家協会長 佐野 比呂志 .....	1	
徳島県美術家協会規約 .....		3	
平成10年度事業報告 .....		4	
役員名簿(平成11・12年度) .....		7	
徳島県美術展開催運営要項 .....		13	
第54回県展記録 .....		17	
第54回県美術展出品・入選等状況 .....		25	
徳島県美術展審査員一覧 .....		26	
第8回放美展記録 .....		30	
各部記録(平成11年度)			
・日本画部 .....	部会長 中川 健 .....	36	
・洋画部 .....	部会長 永山 隆二 .....	39	
・写真部 .....	部会長 櫛渕 魏 .....	48	
・彫刻部 .....	部会長 松永 勉 .....	51	
・美術工芸部 .....	部会長 山上 馨 .....	54	
・書道部 .....	部会長 新居 藍州 .....	58	
・デザイン部 .....	部会長 坂本三千一 .....	63	
会員名簿			
・日本画部 .....	68	・美術工芸部 .....	78
・洋画部 .....	69	・書道部 .....	79
・写真部 .....	73	・デザイン部 .....	93
・彫刻部 .....	77		
第54回徳島県美術展(県展)公募規定 .....			94
第54回県美術展特別・招待・無鑑査・賛助出品者名 .....			95

あとがき

## はじめに

第8回放美展は、春の公募展として、平成11年5月2日（日）から6日（木）の5日間の会期で、県郷土文化会館で開催となった。応募総数は昨年より22点多い1,080点で、その中から放美賞7点、優秀賞45点、入選509点が選ばれた。また、賞を重ねてその資格の得られる無鑑査出品者も年とともに増え、審査員等も合わせて51点となった。観覧者の期待もまた大きく、こうして放美展が益々の発展を続けていくことは、県美術界の将来にとっても大変喜ばしいことである。

第54回県美術展は、本年も県郷土文化会館で、第1期が、11月16日（火）から23日（火・祝）まで、日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、デザインの6部門が開催され、第2期は、11月25日（木）から12月2日（木）まで、書道部門で開催された。展示総数は第1期が6部門で624点、第2期は書道の364点の計988点であった。

内容も54回を重ねて年々充実し、各部門の審査員も等しく「他県の県展と比べて、徳島のレベルはその平均を上回っていた」と評価され、また「独自性があり魅力的」「自由な作品時代を反映」などの言葉もあった。なお、本年は、特に洋画部門で2名、デザイン部門で1名の高校生が特選となり、若き情熱の見事さを見せた。この様に出品者の方々が、多くの中央展以上に厳選である県展に、その美と技を磨き挑戦し続ける熱意と真摯な努力には頭が下がる。県展を愛してやまない出品者の皆様に、あらためて敬意と深い感謝の心をささげたい。

さらに各部門の活動や関係団体、協会会員の活動も例年におとらずさかんであった。恒例の徳島彫刻集団の野外彫刻展は特に印象が強かった。

個人の活動で特記しておきたいものをあげる。3月に洋画部門招待作家の長尾弘久リトグラフ・ドローイング作品展が、県立近代美術館ギャラリーで好評のうちに開催された。5月には田中双鶴書道部委員によって、禅像「閑々子の世界」が出版されその生涯と200点以上もの作品をまとめた豪華本で、4年後に開館予定の県立書道美術館に收藏される。また洋画部会員で活躍の田淵浜子「心の履歴展」が、ほとけとびえろの作品を主に発表、初の個展で大いに意欲をみせた。9月11日から5日間、水間利生個展が郷土文化会館で開催され100号・120号の大作を主に、47点の力作をならべた見ごたえ十分な展覧会であっ

た。県展、美術文化展でも受賞したシュールリアリズムの作品は、徳島では数少なく、代表作15点のカラー作品集も作られ、大きな興味と期待をもって見られた。9月中旬から平木美鶴展「ガーデン」が、ウェイクアップと眉峰の2ギャラリーで開かれた。1年間文化庁の芸術家在外研修員で、ロンドンに滞在した結果を披露した作品で、絵画と版画を展示、大作は鮮やかな色と形による構成で、リズムカルで独創的、印象の強い個展であった。9月下旬から10月にかけて、旺玄会にも出品している賀木道子個展が、東京銀座中山画廊で開催好評であった。島ウタコ七宝個展がそごう美術画廊で10月下旬に開かれた。19回目の個展で、金属とガラスと炎の結晶作品に愛好者を集め盛会であった。12月には居上真人さんが'99日向現代彫刻展で、第1席にあたる市民大賞を受賞、日向市の公園に永久展示されることになったことは、大変喜ばしい。デザイン部委員敷島のり子展が、12月中旬から下旬まで、川島町立図書館で、第10回図書館美術シリーズとして開かれ、多くの観覧者を集めた。さらに洋画部委員を長く務められた天野節さんが、満州奉天工業学校の歴史を後世に伝えようと「黄沙に思いを」の本を同窓生とともに刊行された。長年の夢がかなったという天野さんとともに心から祝福したい。写真部委員の上野照文写真展が、2000年1月21日から3日間シビックセンターで開催。記憶というテーマも魅力的で、多くの愛好者を集め好評であった。

昨年に続いて今年も追悼のことばを記すことにする。平成11年5月10日、久保幽香さんが死去された。久保さんは「東玄書道会」会長で、県内女流書家の第1人者。県美術家協会理事、毎日書道展審査員、日展会友で多くの書家を育て、県内書壇の興隆に多大な貢献をされた。12月27日には協会理事で県展運営委員でもあった洋画の高橋敬さんが亡くなられた。特に高橋さんの高潔で温かな人間性の魅力は、多くの会員仲間に深く親しまれた。長年にわたり県阿波踊り協会徳島支部事務局長も務められ、晩年の阿波踊りの作品は大変印象深い。ばらの絵で多くの愛好者に慕われていた県展で洋画部門賛助出品の、板東俊一さんもかえらぬ人となられた。亡くなられた方々を想うとき、県美術界にとってはまことに淋しく、残念なことである。ご冥福を心からお祈りいたします。

最後に、四国放送（放美展）、徳島新聞社（県美術展）、並びに美術家協会の皆様方のますますのご発展を祈念してはじめのことばといたします。

平成12年3月

徳島県美術家協会会長

佐野比呂志

# 徳島県美術家協会規約

昭和23.	9.	12	規約制定
32.	7.	14	新規約制定
33.	4.	29	規約一部改正
42.	4.	23	〃
46.	4.	29	〃
47.	5.	29	〃
49.	8.	22	〃
52.	7.	23	〃
56.	5.	5	〃
58.	6.	5	〃
61.	6.	21	〃
平成4.	6.	27	〃
6.	6.	25	〃
10.	6.	27	〃

## 第1章 総 則

第1条 本会は徳島県美術家協会と称し、事務所を徳島市内におく。

第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし県美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。

第3条 本会は徳島県に関係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。

- ①日本画 ②洋画 ③写真 ④彫刻  
⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン

第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。

- (イ) 展覧会 (ロ) 講習会 (ハ) 講演会  
(ニ) 観光美術の振興 (ホ) その他必要な事業

## 第2章 役員および会員

第5条 本会に次の役員をおく。

- 会 長 副会長（2名）  
理 事（若干名） 監 事（2名）

会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から5名以内推せんする。役員任期は2年として留任をさまたげない。

第6条 本会は顧問、参与および名誉会員を理事会の推せんによりおくことができる。

第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。監事はこの会の経理を監査する。

第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計会務の報告、役員選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。

総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあつては3名、

31名以上の部にあつては、さらに10名毎に1名選出できる。

第9条 理事会は必要に応じ会長が招集し総会の決議による会務および緊急事項を執行する。

## 第3章 部 会

第10条 各部に次の役員をおく。

- 部会長・委員（部会員数の3割以内）  
部監事（2名）

役員は部総会で選出する。役員任期は2年とし留任をさまたげない。

第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計会務の報告、役員選出その他重要事項の審議を行う。

ただし、部の事情により、部委員会をもって総会にかえることができるものとする。

第12条 委員会は必要に応じ部会長が招集し部会務を執行する。

第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会の名において行うときは、理事会の承認を必要とする。

第14条 各部の経費は部会1人当たり、1,750円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

## 第4章 経 費

第15条 本会の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。

第16条 会費は年額3,500円とし、入会金は1,000円とする。

第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

## (参 考)

☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内に置く。

☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館（徳島公園内の県立図書館）内へ移す。

☆昭和25年12月18日 協会バッチを選定（図案は鬼塚副会長）

☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部会長及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事（3名～5名）によることとする。

☆昭和46年4月29日 6部（日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道）のうえに商業美術（58年度からデザインに改称）が加わり7部組織となる。

# 平成10年度 事業報告

- (1) 総 会
  - 平成10年6月27日
  - 県郷土文化会館 5F第7会議室
  - 平成9年度事業報告及び決算報告
  - 監査報告・承認
  - 会費額の改定
  - 平成10年度事業計画及び予算審議
  - その他
- (2) 理 事 会
  - 平成11年3月23日 放美展、県展等について
- (3) 第7回放美展
  - 平成10年5月27日(水)～5月31日(日)  
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道・デザインの  
557点展示
  - 受賞者表彰式  
平成10年5月31日(日) 県郷土文化会館 第7会議室
- (4) 第53回県美術展
  - 第1期 平成10年11月7日(土)～15日(日)  
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・デザインの638点  
展示
  - 第2期 平成10年11月17日(火)～24日(火)  
(前期 11. 17～11. 20 後期11. 21～11. 24) 書道の551  
点展示
  - 第53回展受賞者表彰式 平成10年11月6日(金) 徳島プリンスホテル
- (5) 県展・放美展会議
  - 第53回県展運営委員会・県展事務局員会議  
(平成10. 5. 14、10. 9. 7、10. 12. 8、11. 2. 22)
  - 第7回放美展運営委員会(10. 5. 23、10. 7. 11)
  - 第8回放美展運営委員会(11. 2. 4)
- (6) 各部会行事
  - 日本画部  
第53回新作日本画展(10. 7. 3～12) 県郷土文化会館
  - 洋画部  
第13回洋画部会員展(10. 6. 4～7) 県郷土文化会館
  - 写真部  
「大阪城とその周辺」写真撮影会(10. 6. 10)
- (7) 各種後援
  - 第11回臯玄書道会展 (10. 4. 9～12)

- 明石海峡大橋開通記念 絵画展 (10. 4. 22～26)
- 第15回チャリティー田中双鶴書作展 (10. 4. 29～5. 4)
- 沢口 功展(個展) (10. 5. 1～3)
- 第22回全美展 (10. 5. 14～17)
- 第12回四国大学書道コース教員10人展 (10. 5. 21～23)
- 二人展(宮本幸江・孝) (10. 5. 21～24)
- 「炎」第21回作品展 (10. 5. 29～31)
- 第5回大叢会書作展 (10. 6. 19～21)
- 第13回正鋒会書作展 (10. 6. 19～21)
- 第21回八紅展 (10. 6. 25～28)
- 第19回東光会徳島支部展 (10. 6. 26～28)
- 第57回世代美術展 (10. 7. 2～5)
- 第53回新作日本画展 (10. 7. 3～12)
- 第43回成蹊書道会展 (10. 7. 10～12)
- 明石海峡大橋開通記念 第7回一書展 (10. 7. 24～26)
- 吉野川と流域を描く 大塚政孜油彩展 (10. 8. 1～16)
- 神戸～鳴門ルート全通記念事業ホロンイベント  
     神戸～明石～淡路～徳島美術交流展 (10. 8. 20～26)
- 第22回16人展 (10. 8. 21～23)
- 第2回徳島旺玄会中央出品者展 (10. 9. 2～9)
- 創立50周年記念 第61回書芸院展 (10. 9. 3～6)
- 第28回東玄書道会展 (10. 9. 4～6)
- 第16回双愛書道会展 (10. 9. 4～6)
- 西條征二写真展「撫養街道」 (10. 9. 10～13)
- 第30回記念 石井美術の会作品展 (10. 9. 10～13)
- 第1回花だより展 (10. 9. 12～15)
- 第21回泉心会書作展 (10. 9. 12～15)
- 第28回徳島雪心会書作展 (10. 9. 13～15)
- 第43回書協人展 (10. 9. 18～20)
- 第54回青美展 (10. 9. 20～23)
- 第28回直心会書展 (10. 9. 25～27)
- 第4回徳島障害者芸術祭 エナジー'98 (10. 9. 29～10. 4)
- 第33回書道研究 清潮書作展 (10. 10. 8～10)
- 第2回花だより展 (10. 10. 11)
- 第13回藍美展 (10. 10. 31～11. 3)

- 第19回書研社展 (10. 11. 11～13)
- 第7回砂光篆会作品展 (10. 11. 13～15)
- 第10回記念 睦月会書展 (10. 11. 14～16)
- 第25回旺玄会徳島支部展 (10. 11. 18～20)
- 第4回六書展 (10. 12. 8～10)
- 第2回グループ翔作品展 (10. 12. 8～13)
- 第28回四国大学書道コース学外展 (10. 12. 11～13)
- 第27回歳末チャリティー作品・色紙即売展 (10. 12. 12～14)
- 第4回悠美展 (11. 2. 2～4)
- 第30回ナルトびんぼけクラブ写真展 (11. 2. 12～14)
- 第24回四国大学文学部書道コース卒業制作展 (11. 2. 19～21)
- 第20回徳島美術学院展 (11. 2. 26～3. 1)
- 第17回書道研究所 書作展 (11. 3. 12～14)
- 第25回桂鳴書道展 (11. 3. 26～28)



# 徳島県美術展開催運営要項

## 第1条 (名称・開催目的)

本展は徳島県美術展「以下(県展)という」と称し広く県民から個性と創造性豊かな美術作品を公募し、審査員による公開審査により優秀な作品を選び、展示表彰することにより県内美術愛好家の制作意欲の活性化をはかり、一方県民に郷土の優れた美術鑑賞の機会を提供することにより芸術文化の発展振興に寄与することを目的とする。

## 第2条 (主催団体)

県展は徳島県美術家協会と徳島新聞社の共催により開催する。

## 第3条 (開催運営の組織)

県展を開催運営するため、基本事項を審査決定する「県展運営委員会」と、主として準備計画を進める「県展事務局」とを設置する。

運営委員、事務局員の任期は2年とする。但し再任は妨げない。

### 〔県展運営委員会〕

運営委員会のメンバーは、県美術家協会会長・副会長2名及び各部会から2名、徳島県から1名、徳島新聞社から3名の合計21名でこれを構成する。

運営委員の中から運営委員長1名、運営副委員長2名を選任する。運営委員長は運営委員会を統括し次の業務を行う。

- 1 開催運営の基本事項について審議決定すること。
- 2 審査員候補を推薦すること。
- 3 審査方法、表彰に関すること。
- 4 収支予算、決算の承認に関すること。
- 5 その他県展開催に必要なこと。

### 〔県展事務局〕

事務局を徳島市中徳島町2丁目5番地の徳島新聞社事業部内に置く。

事務局のメンバーは、県美術家協会各部から2名、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社2名の計17名でこれを構成する。

事務局員の中から事務局長1名を選任し、次の業務を行う。

- 1 出品規定、応募要項、入場券、ポスター、チラシ、図録等の印刷、受付、配布、販売等に関すること。
- 2 会場、会期、審査、搬入、搬出、運営全般の下準備に関すること。
- 3 審査員の下交渉、配宿、航空券の手配、審査日時、場所、接遇等の準備、手配に関すること。
- 4 収支予算案の作成に関すること。
- 5 開会式、表彰式の準備に関すること。

- 6 広報PRに関すること。
- 7 その他県展開催の下準備に関すること。

#### 第4条 (出品部門)

県展の出品部門は日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、書道、デザインの7部門とする。

#### 第5条 (展示作品)

県展において展示する作品は、前条に掲げる7部門の中から次の作品とする。

- 1 一般公募作品の中から主催者が委嘱する審査員の審査を経て入選した作品及び招待、無鑑査、特別出品の作品を展示する。

その他の作品については運営委員会の議を経て展示する。

- 2 招待、無鑑査、特別出品については次の規定による。

◇次のものを招待とする。

- (1) 無鑑査出品を3回以上得たもの。

◇次のものを無鑑査とする。

- (1) 特選を連続3回得たもの。
- (2) 年間を問わず特選を4回得たもの。
- (3) 年間を問わず特選又は準特選を6回得たもの。(特選1回準特選5回、特選2回準特選4回、特選3回準特選3回、準特選6回の場合とする)
- (4) 無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

◇次のものを特別出品とする。

- (1) 県美術家協会の会長、副会長、顧問、名誉会員、参与、審査員及び各部の会長、顧問、参与。

(注) ① 招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、運営委員会で認められた理由がない限りその資格を失うものとする。

② 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。

③ 40回展までの準特選は2回をもって特選と同値とする。

#### 第6条 (審査員)

審査員は県外審査員とする。

審査員の選任は県美術家協会の各部会から一定数の人数を推薦し、この中から事務局で選任作業を行い県展運営委員会の議を経て決定する。

#### 第7条 (審査)

審査は公開により行う。

#### 第8条 (入選、入賞数)

- 1 入選、入賞数は作品の出品数の増減により多少変動する場合があるが、原則として次の範囲内に止める。

部門 \ 区分	特 選	特別賞 (54回展の場合)	準特選	奨励賞	入 選
日 本 画	2	徳島県議会議長賞	3	3以内	規定数
洋 画	3	徳島県教育長賞	5	5 "	"
写 真	4	徳 島 市 長 賞	8	8 "	"
彫 刻	1	徳島新聞社長賞	2	2 "	"
美術工芸	2	四国放送社長賞	3	3 "	"
書 道	8	徳島県美術家協会長賞	13	13 "	"
デザイン	2	徳 島 県 知 事 賞	3	3 "	"

※特別賞は各部とも特選の中から最優秀作品1点に対し贈られるものです。  
賞はいずれも同格で毎年部門により1つずつ順位を変更し賞を贈ります。  
2 入賞は1人1賞とする。

#### 第9条 (表 彰)

県展の入選、入賞者を次の通り表彰する。

- 1 特 選……賞状、賞金7万円
- 2 準特選……賞状、賞金3万円
- 3 奨励賞……賞状、記念品
- 4 入 選……全員に賞状

なお、特選に入賞した作品の中から特に優れた作品について次の特別賞を贈る。

- 1 徳島県知事賞 1名
- 2 徳島県議会議長賞 1名
- 3 徳島県教育長賞 1名
- 4 徳島市長賞 1名
- 5 徳島新聞社長賞 1名
- 6 四国放送社長賞 1名
- 7 徳島県美術家協会長賞 1名

※特別賞の選考方法については別にこれを定める。

#### 第10条 (収支予算)

県展の開催、運営に要する経費は次のものをあてる。

- 1 出品料
- 2 入場料
- 3 図録売り上げ及び広告料
- 4 各種補助金
- 5 その他

県展の支出経費は事務局長の承認を経て行い必ず証票をとり、毎年12月末に決算を行い、2月に開催する運営委員会に報告し承認を得るものとする。

### 第11条 （出品料・協賛費）

県展の出品料及び協賛費は次の通りとする。

- 1 県美術家協会員の出品料は1点2,500円、2点目から1点につき1,500円とする。
- 2 一般の方の出品料は、1点3,500円、2点目から1点につき1,500円とする。
- 3 招待、無鑑査、特別出品者及びその他審査を受けない者の協賛費は、1点2,500円とする。

### 第12条 （入場料）

県展の入場料は次の通りとする。

- |   |       |     |      |    |      |
|---|-------|-----|------|----|------|
| 1 | 一般大学生 | 前売り | 500円 | 当日 | 600円 |
| 2 | 高校生   | 前売り | 250円 | 当日 | 300円 |

### 第13条 （附 則）

本要項の規定は昭和61年9月から実施する。

本要項の改訂、修正は県展運営委員の3分の2以上の議決を経てこれを行うものとする。

平成4年2月22日 一部改正

平成4年5月16日 一部改正

平成8年5月25日 一部改正

平成11年5月14日 一部改正



# 第54回県展記録

会期 (第1期) 平成12年11月16日(火)~23日(火)  
(第2期) 平成12年11月25日(木)~12月2日(木)  
会場 県郷土文化会館

## 日本画

- 〔審査員〕 内田あぐり  
〔招待〕 長尾 弘子 村上 凌雪 橋本 正弘 中川 健 岡 英彦  
土方るみ子 西野 和男 土井 洋子  
〔賛助出品〕 森 薫苑 高田 瑞雪 長谷 壽  
〔無鑑査〕 鶴 悦子  
〔特選〕 冨田 達子 (県議会議長賞)  
中西 芳雄  
〔準特選〕 橋本 隆雄 板東 博美 米沢 稔  
〔奨励賞〕 黒田 實  
〔入選〕 久保脇吉二 井内カヨ子 柳田 一子 柳川ハマエ 長尾佳余子  
藤村美津子 福田佳代子 南 清子 西口 光代 江上 豊  
平野ひろみ 市川 義幸 木内 和美 吉田 麻美 日下 陽子  
泉 修一 川原 光恵 佐藤 晴子 矢田友紀子 山本 泰子  
河野 利枝 笹尾 光永 吉田 満子 三木 義博 井村ひろみ  
藤井 吉信 西村美也子 井坂 寛子 江本美千代 斎藤 久代  
田中 順子 坂 容子 武蔵 光子

## 洋画

- 〔審査員〕 奥谷 博  
〔特別出品〕 佐野比呂志 永山 隆二 長井 公雄  
〔招待〕 清水 亟悞 川原 康孝 楠瀬 等 高橋 敬 立岩 巖  
露口 敏幸 服部 裕 岡本 征二 長尾 弘久  
〔賛助出品〕 浅田 二郎 天野 節 岡 多美子 柏木 雅雄 河田 安市  
黒崎 志郎 後藤田仁一 榭田 務 松川 寛 岡田 守  
〔特選〕 西川 周三 (県教育長賞)  
萱谷 修二 藤本 美幸  
〔準特選〕 出張 徳夫 越久 高照 下地磨理依 三木 洋子 木村 健  
〔奨励賞〕 豊実 和夫 近藤 幸 木下 和江 玉田 秀子 山尾 敬子  
〔入選〕 為實 啓剛 梅津美砂代 笠井 喜男 鈴木 明雄 西條 明彦

浜田 益子	服部 恵美	片山 富市	三谷ミヤ子	林 康太郎
伊勢 浩章	島村 英之	秦 克之	岡田 和泰	岡田 啓子
中辻奈美枝	川田 績	高石 敏幸	元廣 俊子	新田 恭子
山下真由美	馬淵 博子	村瀬 皐月	三木 好子	林 静代
中川 清隆	大西利津子	南城ミツ子	為實美恵子	吉田収二郎
谷崎 泰江	田淵 浜子	加川由紀子	端野 育代	国見シゲミ
藤本 千秋	宮田 京子	川中比沙子	服部 隆子	笹田 興一
矢田 春美	椋本 幸男	岡田 信一	伊藤 紀子	佐々木 超
炭谷 明	宮本 俊助	島川 君子	杉本 祥子	町田 美香
大平 数子	結城 栄子	佐藤 敬子	藤丸 家栄	関 京子
川原 禮子	西川 啓子	青木 幸子	田野 安子	東 紀美子
武田 洋子	福良 哲子	島田美奈子	小松由布子	大平 由美
三好 初子	中本真由美	井上 高子	藤埜 理	木下 博子
北島 溢美	天羽 千絵	佐々木 茂	麻植 尊正	北 美智子
小笠原秋子	岩佐 千代	藤本 晴子	河野シゲ子	島上 二郎
田中 康子	志摩 政照	曾我部秀子	喜多 直彦	米田 薫子
三谷多美子	市川 愛子	村本恵美子	松尾 正一	竹内 梢
藤崎 恭子	姫田 正義	田村亜梨沙	坂東由夏理	近藤 克子
佐野 充幸	平松 智子	三好加奈江	蛭多久美子	堀江 幸子
廣澤 妙子	長尾賀代子	須見 澄子	楠 雅子	鈴木 敬子
大西 道夫	野々瀬 光	冲津由紀子		

## 写真

〔審査員〕	高田 誠三				
〔招待〕	増田 清次	井上 光雄	木田 英之	西條 征二	勝西 雅夫
	藤井 梵	武内 亨	笹田 敏雄	櫛淵 魏	酒井 博司
	三好 和義	上野 照文	森 賢一	橋本 圭祐	安長 剛
	前浦 芳久	荒井 賢治	林 敏彦	多田 晴美	古井 謙吉
	中野 建吉	井藤 光章			
〔無鑑査〕	増田 寿				
〔特選〕	村岡 洋一	(徳島市長賞)			
	森住 博	大津 勝治	岡村 清		
〔準特選〕	前坂 祥文	佐野 辰夫	内田 達也	柳本 正	久保 英樹
	清水 定七	久我 千鶴	大和 健司		
〔奨励賞〕	上杉 大一	坂東 裕子	稲井 芳男	坂東 進	船越 正文

	板東よしお	赤木 昭子	富永 幸子				
〔入 選〕	堀本 信之	折野 理悦	板東 敏晴(2)	井上 憲治	林 佳子		
	大野 武(2)	大野 泰子(2)	川上たかと	堀口 幸男	大久保美代子		
	正見 晃章	戸出 匠(2)	鴻野 孝	佐野 辰夫	久我 千鶴(3)		
	松井 一美	守原 修	谷 賢太郎	村雲 清郷	河田 清		
	森 光	佐藤 義雄(2)	野藤みきよ(2)	山田 勝二	岩本 忠幸(2)		
	今川 妙子(3)	塚原 真澄	大森 孝克(2)	清水 宗保(2)	竹岡 章		
	富加見美枝	森本 芳一	林 晴之	小林 保子	中山 良男		
	近藤 恵子	大津 勝治(7)	田中 昭男(2)	後藤 正巳	氏師 敏晴(2)		
	秋山 登	内田 和子	内田 忠宏	井上 翔	下山 久男(2)		
	田所 正明	尾崎 勇人	内田 達也	柳本 正	宮武 智玉		
	多川 静守(3)	村岡 洋一	岸田 義市	吉村 敏嗣(2)	川村 泰史		
	小原 治	柳谷 雅夫(2)	岩崎 英昭(2)	杉本 正利	赤木 昭子		
	佐々木敏幸	播 博文	土橋 成行	板東 律男(2)	前坂 祥文		
	宮本 幸治	森住 博(5)	大和 健司	辻 義徳	西野 倫子		
	島 廣幸	吉田 圭作	高木 伸幸	小山 秀夫(2)	清水 定七		
	一宮 由子(3)	大西 穂積	根ヶ山 治(2)	根ヶ山美江	中川紀美子(2)		
	稲井 芳男(2)	岡村 清(5)	浜田佳津子	横山 勤一(2)	佐竹 清(2)		
	村沢 義清	武地 雅	宮野 菁伍	楠木 久	竹内 勝		
	露口万里子	上杉 大一(2)	梶村 鉄次	田中喜久夫(2)	木下 登(2)		
	横田 正敏	正木 由紀	船越 正文(5)	東丸 定子(2)	川真田慶治(2)		
	大林 義治(2)	村川 浩一(2)	多田 徳光	岡本 清憲	久保 英樹(4)		
	溝渕 寛治	柴田敬二郎	宮崎 行弘(2)	和田 裕通(2)	村井 寛(2)		
	宮本 好美	四宮 正恵(2)	志摩 育美(2)	吉本 亮子	三宅三代栄(3)		
	阿部 一雄	板東よしお(3)	板東 鶴雄	高木 誠二	田村 泰弘(3)		
	日出 顕作	坂東 進(4)	大西 啓子(3)	斎藤 剛			

## 彫 刻

〔審査員〕 小林陸一郎  
 〔特別出品〕 河崎 良行  
 〔招待〕 佐藤 隆 濱口 恵 井下 俊作 鎌田 邦宏 松永 勉  
 〔賛助出品〕 長岡 強  
 〔無鑑査〕 蔭田 寿  
 〔特選〕 中川 伸一 (徳島新聞社長賞)  
 〔準特選〕 居上 真人 上月 佳代

〔奨励賞〕 笠井 瑠美 小笠原重昭  
 〔入選〕 西島 登 椋本 幸男 橋本 敬子 渋谷 吉昭 阿部 裕司  
 黒田 倫代 津越真由美 加藤 明美 元木 衣里 野口 恭子  
 東 安一 東 光司 武田亜希子 池田 有紗 森 裕二郎  
 梶原 理江 笠井 正彦 原田 綾

## 美術工芸

〔審査員〕 松永 勲  
 〔特別出品〕 山上 馨  
 〔招待〕 新居 猛 七条猪三郎 多智花佐代子 松下 雄介 松下 慶一  
 森 賢一 橋 恵 犬伏 絢  
 〔賛助出品〕 村上 正典 中川 存  
 〔特選〕 森 明治 (四国放送社長賞)  
 斎藤 和彦  
 〔準特選〕 平井 恵子 森 克江 吉田 敏明  
 〔奨励賞〕 越 由子 宮本 孝 丸居 哲雄  
 〔入選〕 徳川 道恭 加藤 和美 佐木川みのる 白石 健 四十宮年代  
 野村 裕子 武田 美子 宮本 孝 梶原 浩二 寒川 治雄  
 伊豫 義之 戸田 智 加藤 伴江 橋本 一成 川真田泰裕  
 渡辺智恵子 藤井 雅代 吉田 晃子 島田 弘美 北島 洋史  
 阿部 徳子 新見 清香 野田 理人 金澤 美穂 近藤 照子  
 西山多恵子 林谷 瑞穂 濱口 由美 宇山 裕子 吉田 陽子  
 四宮 千代 橋本 正子 松山 豊 西川 和美 富田ちえ子  
 川真田 弘 篠原 紀子 広瀬 郁代 阿部 史 井後 善郎  
 宮本 秀夫 竹内寿和子 青木 房江 松浦 茂 折原 香子  
 椎野 隆子 国井 秋子 槌谷 昭子 藤井 哲信 麦倉 紀子  
 森 和良 田村 純子 阿部 俊江 岡崎 益子 山本 和子  
 田村 佳代 住友 良英 小栗加代子 橋 美根子 森 美津子  
 美馬 潤子 樫原 道雄 阿部 一雄 樫原フサコ 田村 祐子  
 宮本 真弓 前野 亮治 松代 映子 矢野順三郎 矢藤 明美  
 山本 敏子 川本 亮子 吉田 祐子 北岡 啓子(2) 斎藤 勝彦  
 近藤 鶴代 角田美富根



# 書 道

- 〔審査員〕 津金 孝邦 池田 桂鳳 松永 暘石
- 〔特別出品〕 荒井 天鶴 田中 双鶴 田中 栢翠 新居 藍州 讃岐 泰泉
- 〔招待〕 宮井 青雨 長原 皐鵬 高原 清泉 西 南龍 成尾 莊秀
- 渡辺 草石 原田 霄月 芝原 醒鶴 前川 古舟 清水 桂月
- 美馬幾美賀 春藤 大耿 中谷 史子 長谷 美峰 勝瀬 景流
- 川上 虹泉 三間 好鶯 近藤 静苑 上田 溪水 日下 溪翠
- 岡島 順子 荒井 彭仙 竹田 和代 山口 華城 藤若 美風
- 武市 鳴雲 中尾 勝子 佐藤 真 富久 鳴雲 永松 春苑
- 島田 小園 坂本 霄風 浜 佳香 隅田 英二 松本 清香
- 多田 清芳 玉城 乾香 薄田 玲泉
- 〔賛助出品〕 東 南光
- 〔無鑑査〕 高田 青蓮 三浦富美代 東 弥生 山口 幽徑
- 〔特選〕 鳩成 広美 (県美術家協会長賞)
- 横田あかね 高井 初子 上田 久恵 宇山 安俊 河野 静江
- 佐原 武子 木田 史子
- 〔準特選〕 川村 真澄 原 貞子 小出 圭子 浅川 陽子 能仁佳仔子
- 宮守 とみ 増田 愛子 亀石 二三 杉本千枝子 野田 洋子
- 武樋 清子 高岡 清 林 浩一
- 〔奨励賞〕 生田 茂子 美馬 潤子 矢部 知子 山城美三子 田上 洋子
- 佐藤 恵美 倉本 節子 播磨 恭子 藤原 育代 竹川 秀穂
- 榊原早知子 山崎ひとみ 笹 雅美

## 〔入選〕

### 漢字の部

- (前期) 牧野美弥子 吉田 有子 前田 麻子 菖蒲 和代 富永 恵以
- 米澤 司子 坂東 武 小松 美佳 高田 嘉代 熊代 厚子
- 横山 弘美 野口 有香 新見 明子 中村 美子 山西 博子
- 細川 美佳 西野 道夫 河内 英見 藤野 超 高田由里子
- 豊浦 佳子 花本ふくみ 粟田 小照 飯田 公子 上田美千代
- 大坂 昌代 西野 幸 杉本 妙子 奥田 文子 片山 保
- 福永久美子 山地 靖子 阿部 博子 大野シゲ子 山本きよみ
- 洲崎 忠雄 大下 富江 吉成真由美 宮西小百合 林 みゆき
- 大本由紀子 黒田 早苗 河野久美子 春川 登 弘田 敏章
- 細川 武治 富永泰寿子 上野 絢子 亀石 二三 湯浅 美香

中川 笑子 谷口 統雄

(後期) 田村 栄子 大平美代子 吉成啓一郎 阿部 千明 青木 博美  
沖田 章代 大塚美代子 井内 裕子 藤村 恭子 藤山真由里  
小西貴美子 安田ひろ子 吉平 順子 小林 宏美 詫間 敬久  
吉田 幸代 戸出 浩子 田中 育子 中川 博雅 岡島 倍子  
藤田喜美代 花木トヨコ 北村 浩子 藤岡千江子 鈴木 正友  
黒田 美穂 四宮 恭子 宮本 暁美 中川恵美子 桑田 次雄  
陶久 房枝 横田 岩夫 高田 耕治 森 千晃 村部 幸子  
紅露 照雄 久次米公代 古川 恵巳 加藤 智子 八木 澄江  
廣瀬 博子 海原 進 斎浦 るみ 駒田 澄子 折上 和美  
山城テル子 山下弥栄子 伊丹 志織 辻 尚子 向井美由希  
松永 浩子 藤澤 俊文

## 仮名の部

(前期) 中筋 良江 田村富士子 須見智香子 楠瀬 恭子 原口 尚子  
椎本 敬子 竹内 英子 松本由希子 甲谷 慶子 井上 まり  
高島 智子 河野紀代子 阿部 智代 近藤真千子 山本 美幸  
根津不美子 遠藤 由子 福良美代子 宮本 敏夫 水口 久枝  
岡島 公子 森 裕美子 小西 敬子 向井 幸子 高橋 宗見  
菖蒲 和代 笠原小夜子 吉田美重子 吉田 幸代 草苺 明美  
広島 章子 吉岡 栄子 吉川登志子 野口 和子 梶 真理子  
辻 尚子 山崎 秀美 山本 愛美 向井美由希 坂野 雅子  
三浦由城子 中谷つや子 豊原 淳子 稲木 裕美 武市 勝恵  
米田 重子 佐野チヨミ 井内 愛

(後期) 枝川 照子 伊藤 秀子 井村 信子 阿部 智恵 朝井 邦子  
高橋 孝子 背川 章子 程野 政子 中野 幸子 益田 昌子  
加藤 昭子 皆谷 露子 祢木 香雲 川口 珠枝 椎野 国子  
大島 弘子 大西 順子 赤川久美子 鶴澤 静佳 佐川 公子  
宮崎 早苗 出口末喜子 佐藤美智代 湊 紀子 叶井 清子  
山本 定子 大久保佳余子 山本 恵子 増田 恵子 久次米公代  
西岡 咲子 西宇 明美 吉田 容子 原田 尚文 加村喜美子  
森西美也子 山橋不二子 湯浅 美香 向井 京子 川人 皓  
佐藤 松子 平野 幸子 村口 透 樫原 孝子 西村 泰子  
浅野 義雄 笹田 真里 井内 淑恵

## 近代詩文の部

(前期) 和田富美子 吉田志希子 吉田さい子 矢野 照代 森本知世子  
 三澤多美子 丸岡 良子 藤井フサエ 平岡 郁子 浜口 敏子  
 仁木しもえ 長野 裕子 田福 理子 高瀬 善郎 新開ひとみ  
 佐藤 恵子 栗山 弘子 川又 敏香 大野 秀子 大崎 辰雄  
 遠藤玻都恵 岩本 雅三 天野 豊 糸田川純子 佐伯 哲史  
 早川美智子 川下小夜子 島 栄子 谷口 昭子 長尾由美子  
 古川悠紀子 磯田 久子 高井 静代

(後期) 若林 節子 吉田佐知子 横谷千代美 森本 陽子 森岡 禎子  
 丸田 三恵 福山 啓子 福永 培子 春川 登 野本 寛之  
 長原 七与 富永美知子 武市三奈子 高岡喜美子 沢村 清美  
 桑村 清 川端喜美子 大西ひとみ 大島 清子 大井多鶴子  
 魚井 委子 朝三 和子 市原亜希子 加藤恵美子 橋本 君代  
 大西千鶴子 笹田 和美 高橋美知江 長井 洋子 引地 美貴  
 青木寿恵子 島崎恵美子 山本 陽子

## 前衛の部

(前期) 真田 秋江 福本早矢賀 福永 和代 中川 博雅 山西 博子  
 佐藤由紀代 池田紀代子 梶川 佳奈  
 (後期) 麻植塚由佳 前川わかな 西岡ゆかり 中川 富量 佐々木和己  
 稲江 司子 伊丹 明美 佐藤 恵子

## デザイン

〔審査員〕 戸田 正寿  
 〔特別出品〕 坂本三千一  
 〔招待〕 浅野 昌哉 斎藤 繁次 坂野美恵子  
 〔賛助出品〕 福井 章  
 〔特選〕 河野 利枝 (県知事賞)  
 田村嘉奈子  
 〔準特選〕 寺本 礼子 福島 美佳 川西 正洋  
 〔奨励賞〕 斎藤志津子 井上 沙苗 森本 恭子  
 〔入選〕 大東 浩司 北島 豊嗣 四十宮隆志 寺本 礼子 宮本 まゆ

的井 瑞枝	福本 奈美	溝渕 良枝	敷島のり子	岩佐 尚美
浅岡 智枝	齐藤 剛	岩朝由起子	芝原 亜紀	近藤弓美子
田村 彰悟	森田 考陽	西村 真琴	荒瀬 奈緒	須藤 政代
田中 靖規	高橋加奈子	小笠原重昭(2)	河野 利枝	堀 恵理子
芦尾 節子	尾形 淳	大西 千恵	羽田 美里	福永 彩乃
山下 裕之	井内 洋介	出晴 仁子	木村 香織	阿部万里子
川口 望	佐々木 愛	松二 直人	平川 りえ	山佳 幸子
山口 歩	北野 寛子	川井 美穂	仁義 弥生	大西真希子
安田 愛	小谷 万智			



## 第54回県美術展出品・入選等状況

部門 区分		日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン	計
出品数		71	300	1,316	38	144	788	140	2,797
人数		63	207	261	34	110	704	118	1,497
入 選	率	54.9%	40.3%	16.6%	60.5%	59.7%	40.1%	40.0%	30.7%
	特別賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	特選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準特選	3	5	8	2	3	13	3	37
	奨励賞	1	5	8	2	3	13	3	35
	入選	33	108	198	18	78	282	48	765
	計	39	121	218	23	86	316	56	859
落 選	率	45.1%	59.7%	83.4%	39.5%	40.3%	59.9%	60.0%	69.3%
	落選	32	179	1,098	15	58	472	84	1,938
招 待 等	特別出品		3		1	1	5	1	11
	招待	8	9	22	5	8	38	3	93
	無鑑査	1		1	1		4		7
	賛助出品	3	10		1	2	1	1	18
	計	12	22	23	8	11	48	5	129
展示数		51	143	241	31	97	364	61	988

◎特別賞は特選の内数である。

# 徳 島 県 美 術

部門 回数	日 本 画	洋 画	写 真	彫 塑
1	委 員	{野 間 仁 根 家 永 騏三郎	委 員	
2	大 栗 旌 折	野 間 仁 根	上 田 備 山	{大 田 三 郎 坂 東 文 夫
3	委 員	伊 原 宇三郎	同 上	{大 田 三 郎 坂 東 文 夫
4	委 員	須 田 国太郎	同 上	同 上
5	上 村 松 篁	田 村 孝之介	小 野 由 行	{大 田 三 郎 坂 東 文 夫
6	西 山 英 雄	伊 藤 継 郎	川 崎 亀太郎	同 上
7	山 口 華 楊	田 川 勤 次	棚 橋 紫 水	新 田 藤太郎
8	池 田 遙 村	須 田 剋 太	同 上	{大 田 三 郎 坂 東 文 夫
9	水 田 竹 圃	小 出 卓 二	同 上	同 上
10	管 楯 彦	{鈴 木 信太郎 野 間 仁 根	同 上	同 上
11	奥 村 厚 一	井 上 長三郎	岩 宮 武 二	同 上
12	浜 田 観	福 沢 一 郎	棚 橋 紫 水	同 上
13	小 松 均	藤 井 令太郎	同 上	{辻 東 晋 堂 坂 東 文 夫
14	秋 野 不 矩	針 生 一 郎	岩 宮 武 二	針 生 一 郎
15	奥 村 厚 一	向 井 潤 吉	棚 橋 紫 水	管 沼 五 郎
16	同 上	吉 原 治 良	岩 宮 武 二	柳 原 義 達
17	松 尾 冬 青	中 谷 泰	同 上	向 井 良 吉
18	矢 野 鉄 山	池 島 勘治郎	同 上	安 田 周 三郎
19	中 村 貞 以	森 芳 雄	堀 内 初太郎	堀 内 正 和
20	曲 子 光 雄	桂 ュキ子	岩 宮 武 二	植 木 茂
21	沢 野 文 臣	伊 谷 賢 蔵	同 上	佐 藤 忠 良
22	堂 本 阿岐羅	村 井 正 誠	同 上	辻 晋 堂
23	松 岡 政 信	山 下 大五郎	岩 宮 武 二	井 上 武 吉
24	山 崎 忠 明	大 沢 昌 助	棚 橋 紫 水	菊 池 一 雄

# 展 審 査 員 一 覧

美 術 工 芸	書 道	デ ザ イ ン
鬼 塚 信 之	委 員	
同 上	田 中 白 村	
同 上	炭 山 南 木	
同 上	炭山南木・織田子青	
同 上	手 島 右 卿	
〔鬼塚信之 新田藤太郎〕	同 上	
鬼 塚 信 之	小 坂 奇 石	
明 石 朴 景	辻 本 史 邑	
会 田 裕 宣	織田子青（漢）・出口草露（仮）	
鴨 政 雄	松 井 恕 流	
近 藤 悠 三	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
平 松 宏 春	同 上	
同 上	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠	
大 西 忠 夫	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
明 石 朴 景	同 上	
平 松 宏 明	同 上	
大 西 忠 夫	同 上	
鴨 政 雄	同 上	
平 松 宏 春	同 上	
内 田 邦 夫	同 上	
山 脇 洋 二	同 上	
槻 尾 宗 一	同 上	
山 脇 洋 二	荒井天鶴・後藤泰秀・田中双鶴 田中栢翠・富永眉峰	

部門 回数	日 本 画	洋 画	写 真	彫 刻 (46回まで彫塑)
25	奥村厚一	齐藤真成	棚橋紫水	原武典
26	梶喜一	島村三七雄	同上	掛井五郎
27	上原卓	高田誠	伊藤知己	松村外次郎
28	黒光茂樹	中間冊夫	岩宮武二	小畠広志
29	松岡政信	島田章三	同上	保田春彦
30	黒光茂樹	田中岑	同上	篠崎明雄
31	河合健二	田中忠雄	同上	江口週
32	長谷川青澄	山口長男	{ 岩宮武二 伊藤藤知三	一色邦彦
33	松岡政信	吉井忠	{ 岩宮武二 秋山庄太郎	柳原義達
34	山岸純	小西保文	岩宮武二	清水九兵衛
35	樋笠数慶	荻太郎	同上	桜井祐一
36	坂口麻沙子	吉井淳二	同上	土谷武
37	下田義寛	野見山暁治	同上	山本正道
38	同上	須田寿	高田誠三	清水九兵衛
39	同上	齐藤真一	同上	城田孝一郎
40	下保昭	津高和一	{ 岩宮武二 高田誠三	清水良治
41	橋田二郎	小松崎邦雄	奈良原一高	淀井敏夫
42	松本哲男	国領經郎	岩宮武二	木津一夫
43	山岸純	利根山光人	三木淳	橋本省
44	平川敏夫	赤穴宏	高田誠三	山崎猛
45	福井爽人	桜井寛	三木淳	土谷武
46	岩沢重夫	大森朔衛	三木淳	峯田敏郎
47	穂田一稗	大谷本重義	立木義浩	小島弘
48	田淵俊夫人	大沼映夫	杵島隆	小建覺造
49	中路融人	馬越陽子	杵島隆	綿引道郎
50	下田義寛	三栖右寛	奈良原一高	古島実
51	工藤早人	中根寛	齐藤康一	恩田静子
52	那波多目功一	松樹路人	細江英公	石井厚生
53	那須勝哉	藤田吉香	高田誠三	香浦有爾
54	内田あぐり	奥谷博	高田誠三	小林陸一郎

美術工芸	書道	デザイン (37回まで商業美術)
藤本能道	荒井天鶴・後藤泰秀・田中双鶴・田中栢翠 富永眉峰	
三井安蘇夫	同上	金野弘
六角穎雄	同上	大智浩
鈴木貫爾	同上	早川良雄
田村耕一	同上	原弘
山脇洋二	同上	田中一光
浅野陽	同上	奥野英雄
前田泰次	同上	灘本唯人
山脇洋二	同上	大高猛
中村光哉	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・田中双鶴 田中栢翠・富永眉峰・新居藍州	福田繁雄
山脇洋二	同上	永井一正
田村耕一	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰 西岡楚峰	山城隆一
同上	同上	粟津潔
山下恒雄	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	田中一光
同上	同上	長友啓典
浅野陽	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・春藤大耿 高原清泉・田中双鶴・田中栢翠・長江清幽 新居藍州・西岡楚峰	亀倉雄策
中村光哉	明石春浦・坪井正庵	伊蔵憲治
浅野陽	桜井琴風・黒野清宇	サイトウ・マコト
山下恒雄	大岡皓崖・山田伍雲・西野象山	佐藤晃一
三浦小平二	花田峰堂・小山素洞・東地滄厓	河北秀也
松永勲	浅見綿龍・森本妙子・加藤大碩	松永真
山下恒雄	近藤摂南・東山一郎・中野北溟	浅葉克己
島田文雄	谷村憲齋・植村和堂・太田義久	藤井三雄
大西長利	安原皐雲・池田桂鳳・金子卓義	五十嵐威暢
山下恒雄	鈴木桐華・西本支星・金子聰松	青葉益輝
島田文雄	尾崎邑鵬・井茂圭洞・大井綿亭	松永真
中井貞次	栗原蘆水・榎倉香邨・種谷扇舟	安西水丸
栗木達介	甫田鷄川・小山やす子・石飛博光	U. G. サトー
宮田亮平	杭迫柏樹・藤木正次・吉田成堂	早川良雄
松永勲	津金孝邦・池田桂鳳・松永暘石	戸田正寿

# 第8回 放美展記録

会 期 平成11年5月2日(日)～6日(木)  
会 場 県郷土文化会館

## 日 本 画

〔審査員〕	西野 和男	岡 英彦	橋本 正弘		
〔運営委員〕	長谷 壽				
〔美協理事〕	森 蔦苑				
〔放美賞〕	冨達 達子				
〔優秀賞〕	平野ひろみ	黒田 實	柳田 一子		
〔入 選〕	岡沢 茂子	江上 豊	川原 光恵	森脇 泰子	久保脇祥雲
	中村 利明	井内カヨ子	四宮 恵美	岩野沙綾香	朝田 敏子
	厚田 文子	藤村美津子	市川 義幸	南 清子	白川 邦子
	永井 貞枝	西村美也子	三ッ本繁美	高橋タケ子	西口 光代
	山本 泰子	吉坂美智子	五宝喜美子	板東多恵子	高部 恒香
	吉田 満子	池田 莉沙	阿部 真弓	立石真由子	長尾佳余子
	田中 順子	船戸 春子	米沢 稔	橋本 隆雄	津川 知子
	秦 照子				

## 洋 画

〔審査員〕	川原 康孝	黒崎 志郎	梶田 務		
〔運営委員〕	永山 隆二	高橋 敬			
〔美協会長〕	佐野比呂志				
〔美協理事〕	岡 多美子				
〔無鑑査〕	玉田 秀子	南城ミツ子	島川 君子	関 京子	
〔放美賞〕	福良 哲子				
〔優秀賞〕	青木 幸子	浜田 益子	佐々木 超	大西 文代	三谷ミヤ子
	河本多恵子	木下 和江			
〔入 選〕	坂田 千恵	丸関 朋子	平松 智子	山尾 敬子	市川 愛子
	遠藤 理恵	村瀬 皐月	井藤 茂雄	山田 越子	片山 富市
	佐藤 友美	宮本 武徳	伊勢 浩章	須見 澄子	谷口 節
	佐藤 敬子	米沢 博	一坂 俊一	川田 績	長田 武夫
	木下 博子	桐島 豊子	松浦 節子	答島 和年	浅山 久子
	阿部 昌子	喜多安喜子	関 政明	林 廉太郎	土橋 正子
	田中 康子	川原 禮子	藤井 香世	小笠原秋子	林 静代
	原田 邦彦	北 美智子	二條 均	為実美恵子	高石 敏幸
	井上 高子	平尾マサミ	近藤 克子	元廣 俊子	岩谷 明
	井内 清志	武田 洋子	島田美奈子	山田 智千	若山 一恵
	岸本 花子	宮井 一三	米田 薫子	鈴木 敬子	佐々木 茂

曾我部秀子	正見 絹江	騎馬 政美	湯岑エミ子	大西 道夫
堀江 幸子	藤丸 家栄	天羽 千絵	寺嶋 有希	田野 安子
下地磨理依	楠 雅子	中本真由美	森山 絵美	漆川 美穂
吉岡 育美	佐藤 永恵			

## 写 真

〔審査員〕	井上 光雄	西條 征二	武内 亨		
〔運営委員〕	櫛淵 魏	安永 剛			
〔美協理事〕	荒井 賢治	酒井 博司			
〔無鑑査〕	柳本 正				
〔放美賞〕	竹岡 章				
〔優秀賞〕	久保 英樹	毛利 次郎	今出 弘	正見 晃章	松本 春子
	森住 博	中山 良男	木村美紗子	向 儀一郎	伊達 照子
	田中喜久夫	河田 清	吉本 亮子	西野 倫子	踏脱 公男
	田中 伸廣	正満 恭子	近藤 恵子	播 博文	
〔入 選〕	久米 勝一	平賀俊次郎	佐藤 章代	谷 賢太郎(2)	森 光(2)
	佐藤 考利(2)	久保 英樹(2)	根ヶ山 治(3)	根ヶ山美江(2)	久米 勝一
	粟田ふさえ	柳本 清一	盛 重知	稲井 芳男	岸上 俊彦
	橋本 紘一(2)	田中喜久夫	中島 敏子(2)	浜田茄代子	上杉 大一(2)
	川真田慶治	濱本喜代子	佐藤 義雄	山本 安乃	池添 秀信
	河田 清(2)	板東 敏晴	稲住 修次	佐治 孝	妹尾 早苗
	小林 保子	浜田佳津子(2)	牧本 正(2)	坂東 裕子	塩本 勝義
	三木 貞仁	坂東 進(3)	富永 幸子(3)	鴻野 孝	竹内 勝(2)
	小山 秀夫	板東 律雄	福原 敏雄	橋本 和夫(2)	原田 宏
	野藤みきよ(2)	野藤 敏美	森川ミサ子	石原 庸好	大森 孝克(2)
	久我 千鶴(3)	宮野 菁伍(2)	中川 定典	土橋 成行(2)	吉本 亮子
	正見 晃章(2)	折野 理悦	川人 啓二	中村 茂人(2)	村岡 洋一(2)
	阿部 美昭(2)	岸田 義市(3)	多川 静守(3)	多川 里美	故島 永幸(2)
	梅久 匠	原井 裕夫	露口万里子	溝淵 寛治	梅本 貞範
	辻 義徳(2)	岡本 清憲(2)	林 晴之(2)	林 達也(2)	西野 倫子
	櫛谷 文次	志摩 育美(3)	大津 勝治(2)	大和 健司(2)	大西 穂積
	岡村 清	竹岡 章	浅川 理	森内 昭男	大西 啓子(2)
	梶村 鉄次	三宅三代栄	前坂 祥文	堀口 幸男(3)	一宮 由子(2)
	森住 博(2)	竹原 章子	川村 泰史	大浦 孝悦(2)	岸田 知久
	吉田 仁志	秋山 登	清水 宗保	竹田 久子(2)	清水 貴功
	国見 良幸(2)	田中 伸廣	四宮 正恵(2)	赤木 昭子(2)	鮎川日出一(2)
	内田 忠秋	内田 澄子	中山 良男(2)	正満 恭子(2)	中村 絹子
	木村美紗子(2)	近藤 恵子	原田 武二	佐々木敏幸	播 博文
	笹田 敏雄(2)	木場つた子	藤本 宗子(2)	宮本 好美	伊達 照子

## 彫 刻

[審査員]	井下 俊作	松永 勉				
[美協理事]	鎌田 邦宏					
[無鑑査]	笠井 正彦	蒔田 寿				
[放美賞]	二宮 治夫					
[優秀賞]	中川 伸一					
[入選]	棕本 幸男	美浪 文	奥谷麻里亜	東 安一	原田 綾	
	東 光司(2)	新居 千尋	津越真由美	横川 陽子	加藤 明美	
	橋本 敬子	喜場美智子	阿辺 和也	川真田武夫	加藤美津子	

## 美術工芸

[審査員]	多智花佐代子	松下 雄介	森 賢一			
[無鑑査]	森 明治					
[放美賞]	吉田 敏明					
[優秀賞]	湯浅カツエ	桜井 慎治	矢野順三郎	田村 恵子	大島 宏昭	
[入選]	隅田 良佑	四十宮年代	加藤 和美	鈴江 美鈴	武田 美子	
	堀渕 素臣	松山 豊	梶原 浩二	四宮 義雄	野田 理人	
	佐木川 允	宇川 清英	阿部まきみ	鳥井 明子	加藤 伴江	
	鶴山 早苗	阿部 徳子	北島 洋史	吉田 晃子	割石 千夏	
	森 克江	新居美紗子	武田 由枝	天真いずみ	斎藤 和彦	
	桶川 美恵	山本美恵子	平岡英津子	住友 和子	本田美智子	
	木内 文子	冨永 裕子	森 寛	山田 実	檜原フサコ	
	坂野 敏子	檜原 道雄	安原多恵子	篠原 光彦	佐藤タマエ	
	前野 育代	寒川 治雄	野崎 昭夫	森 和良	多田 宏	
	四十宮年代	篠原 淑美	渡辺智恵子	新見 清香(2)	宮本 秀夫	
	奥谷麻里亜	多田 正幸	藤井 雅代	山下 慶子	三好 博子	
	金澤 美穂	漆原 久子	坂井 樹里	川島 紘治	矢藤 明美	
	松浦 茂	林谷 瑞穂(2)	矢野 雄也	濱口 由美	田村 純子	
	広瀬 郁代	吉田 陽子	田村 佳代	森 美津子	松永 卓司	
	矢野 裕福(2)	有内 麻里	折原 香子	八木 大乗		

## 書 道

[審査員]	長原 阜鵬	藤若 美風	宮井 青雨
[運営委員]	荒井 彭仙	新居 藍州	
[美協副会長]	讃岐 泰泉		
[美協理事]	上田 溪水	久保 幽香	田中 双鶴



[無鑑査]	川村 春琴	近藤 静苑	中尾 勝子			
[放美賞]	片山 保					
[優秀賞]	高田由里子	弘田 長風	高橋 宗見	中谷つや子	宇津 清子	
	大井多鶴子					
[入選]	大林 理沙	新居 鉄郎	妹尾 敏子	藤永 真里	荒井 和子	
	田井 晴風	原田 尚文(2)	洲崎 忠雄	市原 典子	吉田 和子	
	田村 定雄	向井真由希	春川 登	谷 令子	桐生 弘美	
	松田 敬子	栗城 茂子	浅野 治代	一丸 洋子	石井 瞳(2)	
	大西千鶴子	佐藤 松子	叶井 清子	小西 敬子	笹田 真里	
	豊原 淳子	湊 紀子	佐野チヨミ	川人 皓	中田須美子	
	町田 哲子	来田満里子	高畠美恵子	西村 泰子	向井 幸子	
	市川 陽子	坂野 雅子	井内 愛	近藤 紅恵	浅野 義雄	
	鈴江美音子	佐藤美智代	瀧倉 理恵	平野 幸子	三浦由城子	
	米田 重子	宇多 千秋	武市 直子	坪内佐智子	荒川 佳子	
	岩崎紀美子	西村 泰紀	東條 里映	大平 曜子	野口 有香	
	西村 美保	天羽 千絵	倭田 恵	吉田 幸代	松岡 文子	
	天野 瑞石	佐伯 哲史	市原 皐亜	今出 皐蝶	大津 皐姫	
	久米川信美	高岡喜美子	榊原 皐巴	朝三 皐如	長原 皐月	
	瀬戸内皐容	高木 房一	清重 國子	加藤かつ子	武田 淳子	
	山根 洋子	大塚 唯士	砂山 美希	丸岡 春暁	庄野 美紀	
	山本 美佳	武市めぐみ	権田 明菜	清水 康江	内田 真莉	
	佐藤 友里	長尾 未来	横田 典子	中村 絢子	藤本満里子	
	薮 品子	蔭山 愛				

## デザイン

[審査員]	浅野 昌哉	坂本三千一	斎藤 繁次		
[運営委員]	田中 一郎	福井 章			
[無鑑査]	北島 豊嗣				
[放美賞]	頭師 理恵				
[優秀賞]	堀 恵理子	岡 真寿美	筒井 万貴	小泉まい子	
[入選]	天野 美砂	海部 美紀	富本 祐輔	前田 恵	岡本 麻希
	川口 望	川西 正洋	中村 恵	佐々木 愛	佐々木美佳
	平川 りえ	山住 幸子	田村嘉奈子	澤田 玲子	西川 由美
	大東 浩司	野口 朋子	藤森 美保	本庄美沙子	森 めぐみ
	片桐 祐子	吉川 沙織	美馬さやか	浅野 真季	黒崎麻衣子
	石田 武	中山 武博	岡山恵美子	武田 麻里	柏原 倫子
	近藤 哲朗	大西 和美	鶴 真理	森 雅人	成合 貴志
	生川 佳代	遠藤 愛実			

各部記錄

# 日 本 画 部

部 会 長 中 川 健

## 年間展望

### ◎第8回放美展（5月2日～6日 県郷土文化会館）

7回展58点。今回展は69点と出品点数が11点増え、ここ2～3年間で1番多い出品点数であった。質的にも毎年向上してきていて、今年は壁面との関係で厳選となった。選にもれた作品の中にもキラリと光る魅力的な作品が少なくなかった。次回展もより厳選となるのが予想されるが、今回展以上の魅力的な作品が出品されることを期待したい。

放美賞：「午後の待合室」 富田 達子

優秀賞：「構内」 平野ひろみ

“ 「秋日」 柳田 一子

“ 「昔日」 黒田 實

### ◎第54回新作日本画展（7月7日～11日 阿波銀プラザ）

新人発掘と、県内の日本画人口を増やすことを目的としたこの展覧会も、54回展となった。育って行って県内で活躍している作家も増え、目的からいえば成功した展覧会といえる。ただ出品点数からいえば53回は56点。今回展は50点と、ここ数年、横這い状態が続き、展覧会の規模が発展していないというのが現状である。展覧会のありかたを問い直す時期かもわかりません。ただそうは言っても今回展にも、意欲あふれる新人の魅力的な作品が多数出品され会場を盛り上げてくれたことは喜ばしいことであった。

新作大賞：「見つめる」 宮越 千佳

“ 「山湖」 昇 一声

新 作 賞：川原 光恵・高橋 貞順・岸本 美秀・五宝 紅喜

佳 作：吉田 満子・今川 一水・増田 由美・河野 光悦

### ◎第54回県美術展（11月16日～23日 県郷土文化会館）

53回展より8点多い71展の応募があった。審査員として武蔵野美術大学教授で創画会会員である、内田あぐり先生を招いた。審査評「全体にレベルが高く、独自性のある作品が多かった。」のように例年以上の水準であった。入選作品39点以外にも、伸び伸びと描き好感が持てる作品が多く、当落の一線を引く時の審査員の苦勞している顔が印象的でもあった。

特選（鑑識賞）：「午後のマーケット」富田 達子

特選	：「群」	中西 芳雄
準特選	：「春の遍路道」	橋本 隆雄
”	：「廃墟」	板東 博美
”	：「錆びた陰影」	米沢 稔
奨励賞	：「潮風（かぜ）」	黒田 實

## 会員消息

今年も例年どおり、会員の方々がいろいろな展覧会で活躍され好評を博した。以下、月別に活動状況を紹介する。

1月	日本画新春展	鳴門四電ギャラリー	高田瑞雪・藤田 実・村沢久豊
3月	第27回徳島市文化展	県郷土文化会館	長尾弘子（審査員）
”	とくしま県民文芸表紙絵制作（徳島駅）		長尾弘子
”	第39回日本南画院展	東京・京都・大阪	森 蔦苑・長谷 壽・濱口芳春 斎藤谿春・久保脇祥雲
”	田野町全国水墨画展	高知	森 蔦苑・秦 照苑・市川義幸
4月	日春展	東京銀座 松屋	岡 英彦・土井洋子
”	日本墨彩画院展	香川文化会館	森 蔦苑・長谷 壽・高田瑞雪 高部谿仙・藤田 實・村沢久豊 久保脇祥雲
5月	阿南市展	阿南文化会館	森 蔦苑・長谷 壽・秦 照苑 久保脇祥雲
”	鳴門市文化展	鳴門市市民会館	高田瑞雪・村上凌雪・他30点
8月	中央展出品絵画展	県郷土文化会館	森 蔦苑・長谷 壽・濱口芳春 斎藤谿春・久保脇祥雲
”	絵で見る徳島展	県郷土文化会館	永井貞溪・長谷 壽・森 蔦苑 濱口芳春・久保脇祥雲
”	夏展（日洋合同）	鳴門四電ギャラリー	高田瑞雪・村沢久豊・藤田 実 他
9月	第86回徳島県女流美術家協会展 第28回仙台徳島文化交流展	県郷土文化会館	長尾弘子・他15名
10月	第52回鳴門市展	鳴門市市民会館	高田瑞雪・他多数
”	第54回有秋会展	大阪市立美術館	森 蔦苑・長谷 壽・濱口芳春 久保脇祥雲

- 10月 第26回阿南市文化祭展 阿南文化会館 長谷 壽・秦 照苑・森 蔦苑  
久保脇祥雲
- “ 第33回珀雲社日本画展 県郷土文化会館 長谷 壽・濱口芳春・林 幸子  
斎藤谿春・森 蔦苑・吉坂美智子  
久保脇祥雲
- 11月 第31回日展 東京都立美術館 土方るみ子
- “ とくしま県民文芸表紙絵制作（池田へそっ湖大橋）  
長尾弘子
- 12月 第28回年末チャリティー作品・色紙即売展  
徳島そごう8階 長尾弘子・森 蔦苑・他

# 洋 画 部

部会長 永 山 隆 二

## 年間展望

### ◎第54回県美術展（第1期：11月16日～23日 県郷土文化会館）

審査員には日本芸術院会員の奥谷博先生をお願いした。審査評を要約して紹介すると次のようなことだった。

よく他県の県展を審査するが、徳島のレベルはその平均を上回っていた。意外と都会的で、風土性があまり見られなかったのは残念であった。審査は技術よりも、作者の訴えが強く感じられる作品を選んだ。県教育長賞の西川周三「船（A）」は、船を真っ正面からとらえた力強い構図で、作者の思いを爆発させたような情熱が伝わってくる。特選の藤本美幸「砂漠をワタル流水」は、強烈な個性と詩があり、デッサン力、構成力がある。特選の萱谷修二「迷走環状線」は、とげとげしい現代社会を迷走する高架橋に置き換えてうまく表現されている。

### ◎第8回放美展（5月2日～6日 県郷土文化会館）

洋画部門は応募点数167点で前回をやや下回ったが大変意欲的な作品が多く、質的向上が顕著であった。入選点数は80点で例年のことながら大変きびしいものとなった。選外となられた方もこのことに負けずにこれから頑張ってもらいたいと考えている。

### ◎第14回洋画部会員展（5月27日～30日 県郷土文化会館）

前回展には特別陳列がなくて、ちょっと淋しい感じがしたが、本年度は騎馬政美、佐々木超、清水亟懐の三氏が協力してくださって、出品総数が99点となり、よい展覧会になったと思う。これからも進んで部会会員展の発展のために会員の協力を切にお願いしたい。

## 会員消息

（◎新会員 △住所変更 県展・放美展関係は除く）

- 青木 幸子 洋画部会員展（郷文）、八紅展（徳島市シビック）。
- 浅山 久子 八紅展（徳島市シビック）。
- ◎阿部 昌子 土曜展・徳島市芸術祭美術展・青美展（郷文）青少年センターまつり絵画展。
- 天野 節 青美展（郷文）、日本色彩学会名誉会員。
- 伊勢 浩章 洋画部会員展・平和美術展（郷文）、月曜会展（阿波銀プラザ）、月曜会池田展（ヨンデンプラザ池田）、南北軸6県交流美術展（岡山県立美術館）。

- 乾 繁春 美術文化展（東京都立美術館）、関西美術文化展（大阪市立美術館）、美術文化協会徳島グループ展・洋画部会員展（郷文）、世代美術展（徳島市シビック）、13人展（ヨンデンプラザ徳島）、美術文化協会四国支部展（香川県善通寺）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）、徳島県秀作巡回美術展（県下6箇所）。
- ◎岩谷 明 洋画部会員展・ふるさとを描き遣す会展：「画展ふるさと」・青美展・平和美術展（郷文）旺玄会展：会友出品（東京都立美術館）、旺美展中央出品者展・岩谷明個展（阿波銀プラザ）、つくし会展（ヨンデンプラザ徳島）。
- 宇高 桂子 女流画家協会展（東京都立美術館）、洋画部会員展・第86回徳島県女流美術家協会展：第28回徳島仙台文化交流展・中央展出品絵画展（郷文）、アトリエUDAKA展覧会（ヨンデンプラザ徳島）、徳島県秀作巡回美術展（県下6箇所）。
- 大西利津子 洋画部会員展（郷文）、八紅展（徳島市シビック）。
- 大野 文雄 青彩美術展（徳島市シビック）。
- ◎大平 数子 第2回徳島県文化協会フェア（郷文）。
- 岡 多美子 英展（阿波銀プラザ）、洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展：審査員出品・第86回徳島県女流美術家協会展：第28回徳島仙台文化交流展・中央展出品絵画展（郷文）、新象展：会員出品（東京都立美術館）、'99女流起業家世界大会来徳者のための個展“能に寄せる想いを”（阿波之里夢回廊）。
- 岡田 君代 洋画部会員展・平和美術展・青美展（郷文）、13人展（ヨンデンプラザ徳島）。
- 岡田 守 徳島市芸術祭美術展：招待出品・洋画部会員展（郷文）、世代美術展（徳島市シビック）。
- 賀木 道子 第65回旺玄会展（東京都立美術館）、旺玄会展大阪巡回展・関西旺玄会展（大阪市立美術館）、世代美術展（徳島市シビック）、洋画部会員展（郷文）、旺玄会徳島支部展（徳島市シビック）、個展（東京銀座中山画廊）。
- 河本多恵子 八紅展（徳島市シビック）、国府文化祭（国府町コミュニティセンター）、洋画部会員展・第2回徳島県文化協会フェア（郷文）。
- 岸本 花子 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展：無鑑査出品（郷文）、八紅展（徳島市シビック）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）。
- 木谷 弘 洋画部会員展（郷文）、世代美術展（徳島市シビック）、13人展（ヨンデンプラザ徳島）。
- 黒崎 志郎 第52回示現会展：会員出品・第87回日本水彩展：会員出品（東京都立美術館）、示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）、洋画部会員展（郷文）。

- 後藤ユリ子 現展（東京都立美術館）、洋画部会員展・中央展出品絵画展・第86回徳島県女流美術家協会展：第28回徳島仙台文化交流展（郷文）。
- 後藤田仁一 美術文化展：会員出品（東京都立美術館）、関西美術文化展（大阪市立美術館）、美術文化協会四国支部展（香川県善通寺）、美術文化の14人展（東京銀座アートギャラリー）、美術文化協会徳島グループ展・洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展：招待出品（郷文）、世代美術展（徳島市シビック）、第4回悠美展（ヨンデンプラザ徳島）。
- 斎藤 靖子 日本板画院展：同人出品（東京都立美術館）、アートアカデミージャパン99：ホーラム賞（東京国際ホーラム）、バンコク芸術博覧会：文部大臣賞（タイ国立シルバコーン美術館）、徳島市芸術祭美術展：招待出品・中央展出品絵画展・ふるさとを描き遺す会展「画展ふるさと」・第86回徳島県女流美術家協会展：第28回徳島仙台文化交流展（郷文）、第4回悠美展・13人展（ヨンデンプラザ徳島）、徳島県秀作巡回美術展（県下6箇所）。
- 嵯峨 潤三 ART' 81小品展（兵庫県民ギャラリー）、第18回すどり洋画展（西宮市立市民ギャラリー）、第23回ART' 81展（こうべまちづくり会館）、洋画部会員展・第2回逆光展（郷文）。
- 佐々木 超 徳島市芸術祭美術展：無鑑査出品・洋画部会員展（郷文）、八紅展（徳島市シビック）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）、応神町文化祭（応神町コミュニティセンター）。
- 佐野比呂志 第36回関西独立展：無鑑査出品（大阪市立美術館）、全展：委員出品（東京都立美術館）、世代美術展（徳島市シビック）、徳島市芸術祭美術展：審査員出品・第2回徳島県文化協会フェア：会長出品（郷文）、教職員美術展：招待出品（教育会館）。
- 島田美奈子 徳島新聞社カルチャー展（徳島新聞社）、徳島市芸術祭美術展（郷文）、八紅展（徳島市シビック）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）。
- 清水 亟悞 モダンアート協会展：会員出品（東京都立美術館）、コレ選展（東京銀座）、洋画部会員展（郷文）、第25回M&M作品展：鳥、花、風景（徳島市南新町ギャラリー）、あすなる絵画グループ展（徳島市シビック）、第26回清水亟悞油絵個展（徳島そごう美術画廊）。
- 下内 裕次 モダンアート協会展（東京都立美術館）、モダンアート協会京都展（京都市美術館）、モダンアート協会関西展（倉敷市美術館、大阪現代美術館）、モダンアート協会徳島支部展・中央展出品絵画展（郷文）。
- 鈴江 栄治 フランス留学中。
- 鈴江美代子 第65回旺玄会展（東京都立美術館）、洋画部会員展・ふるさとを描き遺す



会展「画展ふるさと」(郷文)、第1回・第2回個展(不老画室自宅会場)、自叙伝「煌めく好日」を出版し出版記念パーティーをホテルグランドパレスで挙る。

- 曾我部秀子 八紅展(徳島市シビック)、八万文化祭(八万コミュニティセンター)。
- 田中 康子 八紅展(徳島市シビック)。
- 谷 節子 第65回旺玄会展:会友出品(東京都立美術館)、洋画部会員展・中央展出品絵画展・ふるさとを描き遺す会展「画展ふるさと」(郷文)、旺美展中央出品者展(阿波銀プラザ)。
- 玉田 秀子 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展・無鑑査出品(郷文)、八紅展(徳島市シビック)。
- ◎為実 啓剛 青美展・土曜展(郷文)。
- 辻野 正廣 洋画部会員展(郷文)、青彩会展(徳島市シビック)。
- 露口 敏幸 教職員美術展:招待出品(教育会館)。
- ◎永井 郁枝 東光会展:会友出品(東京都立美術館)、東光会徳島支部展・中央展出品絵画展(郷文)・教職員美術展:委嘱出品(教育会館)。
- 長野 満子 第84回二科展(東京都立美術館)、洋画部会員展・中央展出品絵画展・ふるさとを描き遺す会展「画展ふるさと」(郷文)、個展(ミュージアムカフェ・ウヅカ、阿波銀行佐古支店、阿波銀行佐古東支店)。
- 永山 隆二 教職員美術展:招待出品(教育会館)・徳島市芸術祭美術展:審査員出品・洋画部会員展(郷文)、世代美術展(徳島市シビック)、13人展(ヨンデンプラザ徳島)。
- 南城ミツ子 東光会展:会員出品・第31回日展(東京都立美術館)、教職員美術展:委嘱出品(教育会館)・徳島市芸術祭美術展:無鑑査出品・洋画部会員展・中央展出品絵画展(郷文)。
- 橋本 政典 現代美術家協会展:会員出品(東京都立美術館)、日本美術家連盟会員。
- 浜田 益子 洋画部会員展(郷文)、八紅展(徳島市シビック)。
- 平尾マサミ 洋画部会員展(郷文)、文化の森常設展(レストラン竹)、二人展(グレイス)。
- 平木 美鶴 第53回二紀展・第67回日本版画協会展(東京都立美術館)、第14回徳島二紀展(県立近代美術館)、個展(愛知県、美術館松樗堂)、個展(ウェイクアップギャラリー・眉峰ギャラリー同時開催)、第1回山本鼎版画大賞展(長野県)、木版千花10人展(東京銀座井上画廊)、OLIVA展(J-1ギャラリー・南青山画廊・ぎゃるり葦巡回展)、現代日本の版画出版記念展(東京銀座 アートボックスギャラリー)、第44回CWAJ現代版画展

(東京アメリカンクラブ)、徳島大学創立50周年記念展(郷文)。

- 福富 正二 洋画部会員展(郷文)。
- 藤川 明子 青彩美術展(徳島市シビック)、徳島市芸術祭美術展:招待出品(郷文)。
- 榊田 務 東光会徳島支部展・洋画部会員展・第2回徳島県文化協会フェア・四国大学教員展(郷文)、教職員美術展:審査員出品(教育会館)、榊田務作品展(海部町公民館)。
- △松浦 節子 第65回旺玄会展:会友出品(東京都立美術館)、洋画部会員展・中央展出品絵画展・ふるさとを描き遺す会展「画展ふるさと」(郷文)、旺美展中央出品者展(阿波銀プラザ)。
- 三谷ミヤ子 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展:無鑑査出品(郷文)、八紅展(徳島市シビック)、レインボー富田文化祭(東富田コミュニティセンター)、個展(阿波銀富田支店ロビー)。
- 峯 幸子 洋画部会員展・第86回徳島県女流美術家協会展・第28回徳島仙台文化交流展(郷文)、スケッチ小品展(喫茶たむら)、む・アート展(県立近代美術館)。
- 宮井 一三 青彩美術展(徳島市シビック)。
- 元廣 俊子 洋画部会員展(郷文)、八紅展(徳島市シビック)。
- 山口 和子 青彩美術展(徳島市シビック)、徳島市芸術祭美術展:招待出品(郷文)。
- 吉田収二郎 第65回旺玄会展:会友出品(東京都立美術館)、中央展出品絵画展・ふるさとを描き遺す会展「画展ふるさと」(郷文)、旺美展中央出品者展(阿波銀プラザ)。
- 大西 文代 青彩美術展(徳島市シビック)。
- 尾崎 素子 東光会展:会員出品(東京都立美術館)、東光会徳島支部展・洋画部会員展(郷文)、鳴門市文化祭:鳴門市展(鳴門市民会館)、白鳳洋画グループ展(ヨンデンプラザ鳴門)。
- 河野 公子 洋画部会員展・平和美術展・青美展(郷文)、13人展(ヨンデンプラザ徳島)、鳴門市文化祭:鳴門市展(鳴門市民会館)。
- 鈴木 明雄 洋画部会員展・青美展・土曜展(郷文)、新春展、夏展(ヨンデンプラザ鳴門)。
- 田渕 浜子 東光会展:受賞(東京都立美術館)、個展(徳島市シビック)、洋画部会員展・東光会徳島支部展・中央展出品絵画展(郷文)、徳島県秀作巡回美術展(県下6箇所)。
- 大西 道夫 モダンアート協会展(東京都立美術館)、モダンアート協会京都展(京都市美術館)、モダンアート協会関西展(倉敷市美術館、大阪現代美術館)、

洋画部会員展・モダンアート協会徳島支部展（郷文）、教職員美術展：委嘱出品（教育会館）、第19回道草4人展。

- 北 美智子 徳島市芸術祭美術展：徳島市長賞・洋画部会員展（郷文）、八紅展（徳島市シビック）。
- 佐藤 敬子 現展（東京都立美術館）、洋画部会員展・青美展（郷文）、鴨島美術グループ展（阿波銀プラザ）。
- 関 政明 洋画部会員展（郷文）、小松島市展 春、秋（小松島市中央会館）、自由工房展（やまなみコーヒー店・小松島郵便局）。
- 福本 武子 東光会展（東京都立美術館）、東光会徳島支部展・中央展出品絵画展・洋画部会員展（郷文）。
- 福良 哲子 徳島市芸術祭美術展：無鑑査出品・洋画部会員展（郷文）、八紅会（徳島市シビック）、加茂谷文化祭（加茂谷公民館）。
- 大宮 和雄 青美展・土曜展（郷文）。
- 中辻奈美枝 第53回二紀展（東京都立美術館）、第14回徳島二紀展（県立近代美術展）、二紀京都展（京都市美術館）、二紀大阪展（大阪市美術館）、二紀会大阪支部選抜展（大阪府立現代美術センター）、洋画部会員展（郷文）。
- 島村 英之 第52回示現会展（東京都立美術館）、中央展出品絵画展（郷文）。
- 住友 義彦 洋画部会員展（郷文）、羽ノ浦町文化祭美術展（羽ノ浦町）。
- ◎天田 弘之 第2回グランダルシュ《新凱旋門》日本フェスティバル（フランス）、日伊現代芸術巨星展（イタリア大使館）、第8回国際平和美術展（ベルリン）、第5回日本の美術アカデミー イン ジャパン（東京国際フォーラム）、モダンアート協会展（東京都立美術館）、モダンアート協会京都展（京都市美術館）、モダンアート協会関西展（倉敷市美術館、大阪現代美術館）、燎4人展・第31回石井美術の会展（郷文）、第14回国民文化祭：岐阜99（岐阜県美術館）。
- 武市善次郎 日本アンデパンダン展（東京都立美術館）、「車イス」美術部作品展：賛助出品、洋画部会員展・青美展・平和美術展（郷文）、13人展（ヨンデンプラザ徳島）、教職員美術展：招待出品・第43回徳島県福祉大会にて受賞（教育会館）。
- 立岩 巖 第37回全日本美術協会展（東京都立美術館）、第24回フォーカス作家選抜展30号展（上野ギャラリーホシヤ）、洋画部会員展・第31回石井美術の会作品展（郷文）、教職員美術展：招待出品（教育会館）、世代美術展（徳島市シビック）。
- 前野 亮治 三美展（花杏豆）。

- 松川 寛 モダンアート協会展（東京都立美術館）、モダンアート協会京都展（京都市美術館）、モダンアート協会関西展覧（倉敷市美術館、大阪現代美術館）、第10回ART EX、TOKYO' 99：賛助出品（東京国際フォーラム）、燎4人展・洋画部会員展・平和美術展・第31回石井美術の会作品展・アトリエM作品展（郷文）。
- 水間 利生 美術文化展：会員出品（東京都立美術館）、関西美術文化展（大阪市立美術館）、美術文化協会四国支部展（香川県善通寺）、洋画部会員展・中央展出品絵画展・古希記念個展（郷文）、世代美術展（徳島市シビック）。
- 宮本 幸江 東光会展：会員出品（東京都立美術館）、東光会徳島支部展・中央展出品絵画展・第86回徳島県女流美術家協会展：第28回徳島仙台文化交流展・第31回石井美術の会作品展（郷文）。
- 大塚 政孜 鴨島町市場町文化交流展（鴨島町文化センター、市場町コミュニティセンター）、試行展（ヨンデンプラザ徳島）、洋画部会員展（郷文）、市場町文化協会総合作品展：市場町文化祭（市場町ふれあいセンター）。
- 越久 高照 洋画部会員展・青美展・徳島市芸術祭美術展：無鑑査出品（郷文）、藍美展（藍住町福祉センター）。
- ◎片山 富市 第65回旺玄会展（東京都立美術館）、中央展出品絵画展・第31回石井美術の会展（郷文）、旺美展中央出品者展（阿波銀プラザ）、第5回上板町美術愛好会作品展（上板町技の館）。
- 久米 正明 洋画部会員展（郷文）、北島町ふるさとを描き残す会展（北島町立図書館）。
- 二條 均 洋画部会員展・平和美術展・青美展（郷文）、板野美術クラブ展（ヨンデンプラザ徳島）。
- ◎藤井 香世 平和美術展（郷文）、月曜会展（阿波銀プラザ、池田町）、二人展（グレイス）。
- 堀切 蔦子 青彩美術展（徳島市シビック）、藍美展（藍住町福祉センター）。
- 三沢 尚子 関西水彩画展（大阪市立美術館）、第86回徳島県女流美術家協会展：第28回徳島仙台文化交流展・洋画部会員展・燎4人展（郷文）、第2回IRO-DORI水彩画展（ヨンデンプラザ徳島）。
- 三好 初子 東光会展：会員出品（東京都立美術館）、徳島市芸術祭美術展：無鑑査出品・洋画部会員展・東光会展徳島支部展・中央展出品絵画展・第86回徳島県女流美術家協会展：第28回徳島仙台文化交流展（郷文）、藍美展（藍住町福祉センター）、三好初子小品展（リュウネの森ギャラリー）。
- 岡田 光男 青美展・平和美術展（郷文）、鴨島美術グループ展（阿波銀プラザ）。
- 岡本 征二 洋画部会員展・土曜展（郷文）、鴨島美術グループ展（阿波銀プラザ）、鴨

島町市場町文化交流展（鴨島町文化研修センター、市場町コミュニティセンター）、小品展（森コーヒー店）、第5回鴨島町手作り絵本の挿絵。

- △河田 安市 第75回白日会展：会員出品・第31回日展：入選会友（東京都立美術館）、洋画部会員展・中央展出品絵画展（郷文）。
- 島上 二郎 東光会展（東京都立美術館）、洋画部会員展・東光会徳島支部展（郷文）。
- 下時治郎秀臣 第75回白日会展：会員出品（東京都立美術館）、白日会巡回展（名古屋、鹿児島、大阪）、白日会員選抜展（近鉄アベノ）、かけがえのない現象展（日本橋三越、北浜三越）、現代洋画秀作展（大阪梅田画廊、徳島青少年センター）、麻の会展（阿波銀プラザ）。
- 志摩 政照 洋画部会員展（郷文）、鴨島美術グループ展（阿波銀プラザ）、鴨島町市場町文化交流展（鴨島町文化研修センター、市場町コミュニティセンター）。
- 湯岑エミ子 洋画部会員展（郷文）、鴨島美術グループ展（阿波銀プラザ）。
- ◎村本恵美子 試行展（ヨンデンプラザ徳島）、鴨島町文化祭（鴨島町文化研修センター）。
- ◎喜多 直彦 試行展（ヨンデンプラザ徳島）、脇町文化祭（脇町中学校）。
- ◎近藤 克子 試行展（ヨンデンプラザ徳島）、第86回徳島県女流美術家協会展：第28回徳島仙台文化交流展・東光会徳島支部展（郷文）、教職員美術展：委嘱出品（教育会館）。
- 島川 君子 洋画部会員展（郷文）、八紅展（徳島市シビック）、脇町文化祭美術展（脇町中学校）、八万文化祭（八万町コミュニティセンター）。
- ◎武田 洋子 教職員美術展：委嘱出品（教育会館）、春風展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品、祖谷平家まつり協賛出品。
- 藤本 晴子 二科展（東京都立美術館）、試行展（ヨンデンプラザ徳島）、洋画部会員展・中央展出品絵画展（郷文）、脇町文化祭美術展（脇町中学校）。
- ◎増井 厚子 試行展（ヨンデンプラザ徳島）。
- 三谷多美子 洋画部会員展・中央展出品絵画展（郷文）、試行展（ヨンデンプラザ徳島）。
- 金岡 義和 現代童画会展：会友出品（東京都立美術館）、関西童画展（神戸アートホール）、中央展出品絵画展（郷文）、第4回個展（ヨンデンプラザ池田）。
- 川原 康孝 洋画部会員展（郷文）、教職員美術展：招待出品（教育会館）、全美展・世代美術展（徳島市シビック）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品、文協連三好郡交流美術展：三加茂まつり協賛出品、第3回グループ翔展（ヨンデンプラザ池田）。
- 川原 真琴 洋画部会員展（郷文）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品、文協連三好郡交流美術展：三加茂まつり協賛出品。
- 田野 安子 洋画部会員展（郷文）、第3回グループ翔展（ヨンデンプラザ池田）、土曜

画会展：三好文化祭協賛出品、文協連三好郡交流美術展：三加茂まつり協賛出品。

◎為実美恵子 第3回グループ翔展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品、文協連三好郡交流美術展：三加茂まつり協賛出品。

○藤 理 創元展（東京都立美術館）、洋画部会員展（郷文）サンライズ二人展（池田サンライズ）。

◎藤丸 家栄 第3回グループ翔展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品、文協連三好郡交流美術展：三加茂まつり協賛出品、井川町なでしこまつり協賛出品。

○山口美千代 洋画部会員展・青美展（郷文）。

### 会員の訃報

高橋敬氏（県美術家協会理事、洋画部委員、県展招待）が平成11年12月に、板東俊一氏（県美術家協会洋画部会員、県展賛助、大潮会会員）が平成11年9月にご逝去なされました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

# 写 真 部

部 会 長 櫛 淵 魏

## 年間展望

### ◎第54回県美術展（第1期：11月16日～23日 県郷土文化会館）

審査員には昨年につき、大阪芸術大学教授高田誠三先生を迎え、10月24日に審査会を行った。出品点数は昨年を上回る1,316点で、入賞・入選218点、入選率が実に16.6%の狭き門となった。高田先生も「1,316点という応募点数は、他県では例を見ない多さで、県展にかける熱心さがうかがわれる。作品のレベルも高く全精力を傾けた迫力が伝わってきた」と審査評の中で盛況さについて表現されていた。

特 選 「ハンミョウ」 村岡 洋一（特別賞）  
「踊り娘」 森住 博  
「精神統一」 大津 勝治  
「旅の途中」 岡村 清

準特選 前坂祥文・佐野辰夫・内田達也・柳本 正・久保英樹  
清水定七・久我千鶴・大和健司

上位入賞・入選を通し、新しい作家の台頭が著しいことは喜ばしい傾向である。開展前日には阿波観光ホテルにおいて、受賞者表彰式が行われ、式後には来賓、受賞者、県展役員、美協役員、関係者によるオープニングパーティが盛大に挙行された。

### ◎第8回放美展（5月2日～6日 県郷土文化会館）

放美展も8回を数え、内容的にますます充実度が加わり、秋の県展に対し春の公募展として、立派な権威を確立するまでに育ったことは本当に喜ばしい。本年の応募数は480点で、入賞・入選は197点であった。なお、審査員として西條征二、井上光雄、武内亨の三氏が担当した。

放美賞 「入学の朝」 竹岡 章  
優秀賞 久保英樹・毛利次郎・今出 弘・正見晃章・松本春子  
森住 博・中山良男・木村美沙子・向儀一郎・伊達照子  
田中喜久夫・河田 清・吉本亮子・西野倫子・踏脱公男  
田中伸廣・正満恭子・近藤恵子・播 博文

### ◎県美協写真部撮影会（6月13日）

恒例の撮影会は43名の参加があり、大型貸切バス1台で奈良方面へ向かった。徳島駅前を午前7時に出発、先ず奈良市写真美術館で入江泰吉氏の作品を全員で見学した。そ

の後は東大寺周辺、奈良町一带など各自の自由行動で午後3時45分まで撮影し、午後7時前に徳島駅に帰着した。有意義な一日を全員が過ごせたと思う。担当委員として、三木晴夫、折野理悦、林敏彦、古井謙吉、井藤光章の5氏が当たり、旅行一切の世話をしていた。

### 各分野での会員の活躍 ～会員所属の団体展等の活動状況～

- ◎JPS（日本写真家協会）展（東京都美術館 5月）  
荒井 賢治（会員出品） 井藤 光章・多川 静守（入選）
- ◎第47回二科会写真部展（東京都美術館 9月1日～）  
荒井 賢治（会友出品）  
西條 征二・大和 健司・宮崎 行弘・国見 良幸・梅本 貞範（入選）
- ◎阿波踊り写真コンクール（阿波銀プラザ 10月17日～22日）  
横山 勤一・岩崎 英昭（準特選）  
大津 勝治・西條 征二・平賀俊次郎・坂東 進・岡村 清・佐治 孝  
古井 謙吉（入選）
- ◎第6回朝日四国写真展（高松市 11月14日）  
西條 征二（徳島県知事賞）  
井藤 光章（全日写連徳島本部長賞）  
大和 健司（奨励賞）  
森 賢一・井上 光雄・楠淵 魏・宮野 善伍・清水 宗保・田中 伸廣  
林 敏彦・三木 理司（入選）
- ◎三好和義写真展「日本の世界遺産」（徳島そごう美術画廊 8月31日～9月6日）  
ユネスコの依頼を受け、日本国内の世界遺産に指定された社寺等の建造物、自然を氏の卓抜なカメラアイで捕らえた大型パネルによる作品展で深い感銘を与えた。
- ◎第7回コンタックスクラブ徳島支部写真展（ヨンデンプラザ徳島 1月15日～17日）  
支部長 森住 博
- ◎第1回徳島水中写真クラブ作品展（ヨンデンプラザ徳島 1月29日～31日）  
代表 大和 健司
- ◎第33回日本光画会写真展（徳島市シビックセンター 1月29日～31日）  
徳島事務局長 酒井 博司
- ◎第28回徳島県教職員美術展（県郷土文化会館 1月29日～31日）  
後藤 能大（審査員）  
荒井 賢治・井上 光雄・勝西 雅夫・楠淵 魏・西條 征二・酒井 博司  
武内 亨・藤井 梵（招待出品）



- ◎第14回全日写連県本部写真展（徳島市シビックセンター 2月5日～7日）  
県本部委員長 井藤 光章
- ◎第30回ナルトびんほけクラブ写真展（鳴門市山高ギャラリー 2月12日～14日）  
会 長 川上たかと
- ◎第16回サンカ会写真作品展（徳島市シビックセンター 4月17日～19日）
- ◎日本リアリズム写真集団徳島支部写真展「現世転生」（ヨンデンプラザ徳島 4月23日～25日）  
支部長 藤井 梵
- ◎第5回JCCフォトクラブ作品展（徳島市シビックセンター 4月23日～25日）  
会 長 増田 寿
- ◎第6回写団「無」写真展（徳島市シビックセンター 5月7日～9日）  
会 長 大野 武
- ◎第22回写真同人「炎」作品展（徳島市シビックセンター 5月21日～23日）  
会 長 西條 征二
- ◎第17回写真集団「風」作品展（徳島市シビックセンター 5月28日～30日）  
会 長 安長 剛
- ◎写真家 吉村敏嗣の世界「心の華・花の華」（徳島そごう 美術画廊 6月1日～7日）
- ◎第5回徳島ライカクラブ写真展（ヨンデンプラザ徳島 6月15日～17日）  
会 長 武内 亨
- ◎第4回写一会写真展（ヨンデンプラザ徳島 7月13日～15日）  
会 長 宮崎 行弘
- ◎藤本宗子写真展（徳島そごう 美術画廊 8月10日～16日）
- ◎第13回徳島花を写す会写真展（徳島市シビックセンター 8月27日～29日）  
会 長 酒井 博司
- ◎森住博：旅のスケッチ「ポルトガル」個展（徳島そごう 9月1日～6日）
- ◎第4回写友「吉野川」写真展（徳島市シビックセンター 9月11日～13日）
- ◎第39回写楽会写真展（徳島市シビックセンター 9月17日～13日）  
会 長 櫛淵 魏
- ◎鋭光会写真展（徳島市シビックセンター 10月8日～11日）  
会 長 林 治郎
- ◎第2回二科会写真部徳島支部展（徳島市シビックセンター 11月27日～29日）
- ◎平成11年度徳島県秀作巡回美術展（県内 6箇所 10月～11月）  
出品者 酒井 博・安長 剛・武内 亨

# 彫 刻 部

部 会 長 松 永 勉

## 年間展望

◎第54回県展（平成11年）には、行動美術協会彫刻部会員で京都精華大学美術学部長の小林陸一郎先生に審査をお願いした。今回の出品点数は38点、その内23点が入選作品となった。出品点数では前回より7点増となった。制作や運送に手間のかかる彫刻作品であるが、わずかながら増えたこと、作品がこれまで以上に大型化、素材が多様化していることで充実した内容になった。

審査評では「全体にバリエーションに富んでおり、従来の彫刻には見られなかったような斬新な素材の作品もあり、彫刻の広がりを感じさせる。しかし、人体像の多くは総じてデッサンが弱い。いい作品を見たり、量感を把握する力を身につけてほしい。」と話された。また「長年の制作はマンネリ化する恐れがあるので、自分の癖を壊して常に進歩の気持ちを忘れないでほしい。」とも述べられ、出品者に対して熱心に説明やアドバイスをされた。

受賞作品として、特選（徳島新聞社長賞）に中川伸一氏の“STONE AGE IX”が選ばれた。素朴な味のする形とサイズのバランスが良い石彫刻作品である。この作品について「テクニックとセンスが良く、素材の持つ緊張感がうまく表現されている」との評であった。中川氏は以前より黒御影石の可能性を追及し、様々な展覧会でチャレンジしている期待の若手である。準特選の上月佳代氏の“ジンドリスブルー”は「骨格がしっかりして確かなデッサン力を感じる。癖を壊そうとする強さがある。」と評された。また、同じ準特選の居上真人氏の“ぼくもとびたい”には「ユーモアがあっっておもしろい作品」という評をいただいた。二人ともこれまでに受賞歴があり、年毎に力をつけている作家である。これからも頑張ってもらいたいと思う。

◎第8回放美展には26点の出品があった。そのうち18点が入賞、入選となった。抽象作品に新鮮で魅力のある作品が多く目立った。放美賞には初出品で初入選である二宮治夫氏の“援助”が選ばれた。ヒノキの丸太を組み合わせ、単純な構成の中に野放図な美しさを持つ作品として仕上げていた。素材を生かした明快な作品であった。優秀賞には中川伸一氏の木彫作品“イーグルの夢”が選ばれた。プリミティブな形を求めようとする意欲が評価された作品である。なお、今回の放美展の審査員として、大津文昭・松永勉の二人が担当した。

## 会員消息

(県展・放美展関係は除く)

居上 真人	6月	宮崎空港展に現代彫刻出品 居上真人石彫の世界(出版)	宮崎空港ロビー
	7月	居上真人石彫展開催 子どものための彫刻鑑賞教室開催	県立近代美術館 県立近代美術館
	9月	第84回二科展へ会友出品	東京都立美術館
	10月	第37回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園
	11月	日向現代彫刻展にて市民大賞受賞	日向市グリーンパーク
	12月	第1回西日本彫刻文化交流サミット参加	徳島市
井下 俊作	9月	第54回行動展へ会員出品	東京都立美術館
	10月	第37回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品 第54回行動展(大阪巡回展)へ出品	徳島市中央公園 大阪市立美術館
	12月	第1回西日本彫刻文化交流サミット参加	徳島市
大津 文昭	10月	第37回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園
	12月	第1回西日本彫刻文化交流サミット参加	徳島市
河崎 良行	1月	しまなみ海道彫刻コンクール(審査員)  河崎良行デッサン展開催	本州四国連絡道路 尾道〜今治ルート 徳島そごう
	8月	徳島二紀展へ出品	県立近代美術館
	9月	河崎良行デッサン展	ギャラリー・ムサシ(東京)
	10月	第53回二紀展へ委員出品	東京都立美術館
	11月	「風のフォルム」作品設置	群馬県前橋市
	12月	徳島大学創立50周年記念美術展へ出品	県郷土文化会館
鎌田 邦宏	8月	徳島二紀展へ出品	県立近代美術館
	10月	第53回二紀展へ出品	東京都立美術館
佐藤 隆	4月	第3回明石大橋開通記念兵庫・淡路 徳島交流野外展へ出品	淡路SAオアシス
	10月	第37回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園
	12月	第1回西日本彫刻文化交流サミット参加	徳島市
渋谷 吉昭	10月	第37回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園
	12月	第1回西日本彫刻文化交流サミット参加	徳島市
中川 伸一	9月	第54回行動展にて会友賞受賞	東京都立美術館
	10月	第37回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園
	12月	第1回西日本彫刻文化交流サミット参加	徳島市

濱口 恵	4月	ロンドン・ザグレブ巡回展へ出品	ウエストミンスターギャラリー クロアチア国立美術館
		第49回モダンアート展へ出品	東京都立美術館
	10月	平成11年度徳島県秀作巡回美術展 (県環境生活部生活国際総室主催)へ出品	県内6会場
		第37回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園
	12月	第1回西日本彫刻文化交流サミット参加	徳島市
林 一美	4月	徳島彫刻会彫美展へ出品	四電ギャラリー
東 光司	5月	第5回ストーンミュージアム石の彫刻展へ出品	香川県
松永 勉	2月	県立阿南テクノスクールへ 「風景の環」作品設置	阿南市
	4月	西宮関電情報システム(株)へ作品設置	兵庫県西宮市
	9月	第54回行動展へ会員出品	東京都立美術館
	10月	第37回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園
		第54回行動展(大阪巡回展)へ出品	大阪市立美術館
	12月	第1回西日本彫刻文化交流サミット参加	徳島市
蒔田 寿	1月	南北軸6県交流美術展	岡山県立美術館
	8月	徳島二紀展へ出品	県立近代美術館
	10月	第53回二紀展へ出品	東京都立美術館
	12月	徳島大学創立50周年記念美術展へ出品	県郷土文化会館
長岡 強	3月	第75回白日展へ会員出品	東京都立美術館
	4月	第29回日彫展へ会員出品	東京都立美術館
	11月	第31回日展で特選受賞	東京都立美術館

# 美術工芸部

部会長 山上 馨

## 年間展望

### ◎第54回県美術展（11月16日～23日 県郷土文化会館）

本年の県展美術工芸部門の応募点数は144点、応募者は110名で数の上では共に昨年をやや下回ったが、作品の質が一段と向上し、審査は厳選となった。入賞8点（特選2点・準特選3点・奨励賞3点）、入選78点に無審査出品11点を加えた総展示数は97点であった。

今回の審査員は東京芸大教授・現代工芸美術家協会評議員の松永勲先生にお願いした。総評では「9年ぶりに徳島の県展を審査したが、前回より全体にレベルが上がっており、いい印象を受けた。審査では、作者の表現したい気持ちは理解できても技術的に未熟な作品は落選とした。美術工芸は制作意図と技術がうまく釣り合っているかどうかが重要で、その点、受賞作は問題が少なく、魅力があった。—（中略）—

今回、ベテランの作品と思われるものに、何か物足りないものを感じた。仕事というものは、慣れてくるとまずい面が出てくる。経験を積み、技術的なことがある程度分かってくると落とし穴が待ち受けている。いつも新鮮な気持ちで一作一作に向かってほしい。」ということであった。

審査後の「審査員を囲む会」でも、表現の主題や意図のとらえ方、それと技術との調和などが話題となり、これからの徳島の美術工芸の歩み方についての貴重な示唆をいただいた。

特選（四国放送社長賞）	森 明治「炭化窯変大鉢」
特選	斎藤 和彦「山の詩—99」
準特選	平井 恵子「風のメッセージ」
”	森 克江「岨（そば）」
”	吉田 敏明「黄昏」
奨励賞	越 由子「秋燃ゆる」
”	宮本 孝「流想」
”	丸居 哲雄「ヤットサー」

### ◎第8回放美展（5月2日～6日 県郷土文化会館）

応募点数は129点で前回にくらべ24点増加した。初夏の県の美術展にふさわしく内容的にもすぐれた作品が多く出品されるようになってきた。入賞6点（放美賞1点・優秀賞5点）入選77点に無審査出品4点を加えた総展示数は87点で前回は15点上回る盛況となった。

放美賞の吉田敏明「波紋」は色調もよく完成された美しさをともなった陶芸作品である。優秀賞、湯浅カツエ「ローケツ染きもの 夏を告げるほゞづき」は手なれた染めで上品な美しさがある。桜井慎治「開輪」は土あじを生かした力量感あふれる陶芸作品である。矢野順三郎「風と光のシンフォニー」は新しい造形感覚と構成力が目立つ陶器である。田村恵子パッチワーク「想い」は色彩が豊かでリズム感が見事である。大島宏昭「武骨者」はガラスの作品で新しい分野へ切り込んでいく独創性が高く評価される。

今回の出品では、新人の進出が目ざましく、各ジャンルで、新しく、思い切った主題表現を試みた作品が多く、本県の美術工芸の発展に新風を吹き込む動きになることも期待できそうである。

放美賞	吉田 敏明「波紋」
優秀賞	湯浅カツエ「ローケツ染きもの夏を告げるほゞづき」
〃	桜井 慎治「開輪」
〃	矢野順三郎「風と光のシンフォニー」
〃	田村 恵子「想い」
〃	大島 宏昭「武骨者」

### 会員消息

(県展・放美展関係は除く)

矢野 和子	◦ 第7回夢のきざはし六人展	4月	ヨンデンプラザ徳島
	◦ 第1回ネブラスカセミナー	6月	ネブラスカ大学 インターナショナル・ キルトスタディセンター
	◦ フォーカスもめんの詩一見つめる一(個展)	10月	アトラツインショールーム
犬伏 絢	◦ 第54回新匠工芸会(奨励賞)	11月	京都市立美術館
多智花佐代子	◦ 第38回日本現代工芸美術展(会員出品)	3月	東京都立美術館
	◦ 第10回現代工芸ゆめいろ展	5月	高松・三越
	◦ 第31回日展	11月	東京都立美術館
九十九健二	◦ 第一美術展	5月	東京都立美術館
富田ちえ子	◦ 日本染織作家協会第2回関西支部染織展	8月	大阪・高島屋
新居 猛	◦ 「ニーチェア Z20」カッシーナ・インターデュール採用	2月	東京・渋谷
	◦ 「デザイン職人四方山話」講演	5月	東京京橋 I N A X
	◦ 「デザイン権利について」書籍掲載	6月	J I D発行
	◦ 「ニーチェアとデザイン人生」特別講義	10月	大阪市立デザイン教育研究所
	◦ “99椅子”展 X80とKD2点	10月	大阪A T C
	◦ 東京国際家具見本市	11月	東京ビックサイト

	◦ 「この素晴らしきものたち」椅子篇	12月	NHKハイビジョン
西 浩子	◦ 女子美卒業生作品展	5月	東京・女子美術大学
	◦ 第28回仙台・徳島文化交流展	9月	県郷土文化会館
	◦ 第86回徳島県女流美術家協会展		
野田 理人	◦ 県手工芸展（奨励賞）	1月	県郷土文化会館
平井 恵子	◦ 第38回日本現代工芸美術展	3月	東京都立美術館
	◦ （日本現代工芸近畿展）		
	◦ 「物と素材造形のはざままで」企画展	4月	東京都立美術館
	◦ 京展	5月	東京都立美術館
	◦ 大津市展（無鑑査出品）	7月	大津市歴史博物館
	◦ 滋賀県工芸美術協会展	9月	滋賀県立近代美術館
	◦ 滋賀県展	11月	滋賀県立近代美術館
村上 正典	◦ 村上正典陶芸展	10月	徳島そごう
山本 和子	◦ 第38回日本現代工芸美術展	3月	東京都立美術館
	◦ 第10回徳島現代クラフト展	4月	県郷土文化会館
	◦ 第10回現代工芸ゆめいろ展	5月	高松・三越
	◦ 第1回創展（記念誌発刊）	11月	阿波銀プラザ
	◦ 全国阿波藍染織作家協会作品展	11月	藍住町歴史館「藍の館」
四十宮年代	◦ 第27回徳島市芸術祭美術展	3月	県郷土文化会館
	◦ 第22回日本染織作家展	4月	京都文化博物館
	◦ 香川県牟礼染色同好会	6月	牟礼町石の民族資料館
	◦ 第34回中部染色作家展	7月	名古屋市博物館
	◦ 第42回日本工芸会四国支部展	11月	高松・三越
松山 豊	◦ 松茂町陶芸教室展	3月	松茂町歴史資料館
	◦ 徳島陶芸会展	4月	県郷土文化会館
	◦ 徳島陶芸会一燈祭展	4月	徳島城博物館
	◦ 鳴門市展	10月	鳴門市民会館
	◦ 松茂町陶芸教室展	11月	松茂町歴史資料館
矢野 款一	◦ 四国陶芸展	10月	高知県安芸市
	◦ 第42回日本工芸会四国支部展	11月	高松・三越
	◦ 陶の会「焱」	11月	兵庫県洲本市民会館
影谷美代子	◦ 第18回徳島平和美術展	7月	県郷土文化会館
	◦ 小松島市芸術祭 染色展	12月	小松島中央会館
斎藤 和彦	◦ 日本七宝作家協会国際展（佳作）	11月	上野の森美術館

小栗加代子	◦ 第38回日本現代工芸美術展	3月	東京都立美術館
	◦ 第一美術展	5月	東京都立美術館
	◦ ネブラスカ州立大学サマーセミナー	6月	ネブラスカ州立大学
宮本 孝	◦ 第18回徳島平和美術展	7月	県郷土文化会館
寒川 治雄	◦ 高齢者美術展（県議会議長賞）	11月	県郷土文化会館
	◦ 第8回陶芸展（個展）	11月	北村郵便局ギャラリー
堺 都美子	◦ 第18回徳島平和美術展	7月	県郷土文化会館
	◦ 第10回現代工芸ゆめいろ展	5月	高松・三越
	◦ 藍住町美術展	10月	藍住町福祉センター
武田 美子	◦ 第11回和展	10月	上野の森美術館
橘 恵	◦ 藍染くらぶ作品展	9月	四電ギャラリー
丸居 哲雄	◦ 丸居哲雄の世界（個展）	4月	上板町技の館
	◦ 障害者芸術祭 エナジー展	10月	板野町文化の館
	◦ 美術愛好会展	11月	上板町技の館



# 書 道 部

部 会 長 新 居 藍 州

## 年間展望

### ◎第54回県美術展（第2期・前期11月25日～28日 後期11月29日～12月2日）

- 出品点数788点、出品者数704名、入選・入賞計316点
- 出品点数で前回比439点減、入選入賞点数で188点の減となった。出品者が96名減にとどまったのは1点出品者が増加したためである。
- その結果入選作品の水準の向上は著しいものがあった。
- 1人数点の出品を促して出品点数に応ずる入選数を確保し、入選を1人1点に限定して入選者を増やすという操作の矛盾は各社中の努力によって解決に向かったもので累年の審査員の指摘にも応えることができたと考えられる。第41回展の県外審査制の採用に次ぐ、県展書道部門の第二の改善と言えるのではあるまいか。

この上は、放美展・県書道展を含めた全体的視野に立って公募展の体系化を図り、県展が県下最高権威としての地位を確立し、ひいては県書道界の活性化と向上を期すべきと考えられる。

### ◎第8回放美展（5月2日～6日）

- 出品数136点、入選入賞数101点、入選率74.3%、役員・無鑑査の12点を加えて展示総数は113点。作品の水準はある程度の位置で定着の傾向があるが、壁面の制約が反映して出品点数も毎回似たものとなっている。ただ出品者の顔ぶれに回によって大きい変動が見られるのが本展の実情である。

◎久保幽香さんの急逝は本県書道界にとってまことに痛恨の極みであった。近代詩文書の若い旗手として全国的に活躍し、東玄書道会を主宰して、本県に近代詩文書を根づかせた功績は不滅のものであろう。県美協理事としての御功績も大きいものがある。第8回放美展の出品作が時期的にみて絶筆になったものと思われる。ご冥福をお祈りする次第である。

◎県立書道美術（仮称・文学館と併設）が基本・実施設計を終えて平成12年度着工の運びとなった。新年度の事業費は4億1700万円、施設の規模は延べ床面積4,195平方メートルと報ぜられている。13年度中の完工、14年秋開館の予定である。全国唯一の県立書道美術館の建設が新しい段階を迎えたのはまことによろこばしいことである。

### ◎ 社中展・個展等（県内開催分）

- 第12回長玄書道会展 阿波銀プラザ 4月8日～ 11日

- 第16回チャリティー田中双鶴書作展 徳島そごう5階画廊 4月29日～5月3日
- 第34回書道研究清潮書作展 県郷土文化会館 5月7日～ 9日
- 第14回正鋒会書展 徳島市シビックセンター 5月14日～ 16日
- 第6回大耽会書作展 県郷土文化会館 5月14日～ 16日
- 光輪社女性50人展 阿波銀プラザ 7月2日～ 4日
- 芝原醒鶴書作展 徳島市シビックセンター 7月30日～8月2日
- 第62回徳島書芸院展 県郷土文化会館 9月2日～ 5日
- 第22回泉心会書作展 県郷土文化会館 9月9日～ 12日
- 第29回直心会書展 県郷土文化会館 9月10日～ 12日
- 第28回徳島雪心会書作展 県郷土文化会館 9月17日～ 19日
- 第8回砂光篆会作品展 徳島市シビックセンター 10月29日～ 31日
- 第11回睦月会書展 徳島市シビックセンター 11月6日～ 8日
- 第2回書朋六人展 阿波銀プラザ 12月10日～ 12日
- 第3回せせらぎ書展 徳島市シビックセンター 12月11日～ 13日

個人消息 (平成11年1月～12月)

1. 中央展・県外展に審査員・役員として活躍し、作品を発表した人々

- 第40回大玄会書展(東京都立美術館 1/11～17)  
田中双鶴・中谷史子・近藤静苑・中尾勝子・竹田和代・春藤大耿・菱崎華涛
- 第27回日本の書展(東京セントラル美術館 1/26～31)  
久保幽香
- 第53回日本書芸院展2月展・4月展・役員展  
(大阪市立美術館・松坂屋 2/15～21 4/6～11 5/11～16)  
東 南光・東 弥生・伊丹東龍・上田溪水・隅田英二・山口華城・勝瀬景流  
近藤聖邨・島田小園・高田青蓮・長江頌石・能仁華瑤・古川蕙秀
- 現代女流書100人展(東急百貨展 2/9～5)  
久保幽香
- 東京書作展選抜作家展'99(東京都立美術館 2/20～26)  
田中双鶴・近藤静苑・中尾勝子ほか11名
- 第35回創玄展(東京都立美術館ほか 3/7～12)  
荒井天鶴・荒井彭仙・岸 潮風・久保幽香・坂本霄風・佐原和清・高岡晃祥  
多田清芳・長原阜鵬・永松春苑・浜 佳香
- 第18回日本刻字展(東京都立美術館 3/7～12)  
横田素林

- 第15回日本篆刻展（大阪市立美術館 5/11～16）  
横田素林
- 第22回日本かな書展（東京日本橋高島屋 5/13～18）  
讃岐泰泉・藤若美風
- 太玄会役員書展（新宿センタービルほか 5/27～6/1）  
田中双鶴ほか17名
- 第15回日本篆刻展四国展（県郷土文化会館 6/4～6）  
横田素林
- 現代の詩歌と書の世界展（東京セントラル美術館 6/8～13）  
久保幽香・多田清芳
- 第16回産経国際書展（東京池袋サンシャイン会館 7/24～8/1）  
讃岐泰泉・藤若美風・松本清香・三浦富美代・増田愛子・武市勝恵・出口末喜子
- 読売書法展（東京都立美術館 7月）  
東 南光・東 弥生
- 創玄の書・西日本代表作家展（広島県熊野町筆の里工房 8/7～10/3）  
浜 佳香
- 第15回国際蘭亭筆会（韓国書道芸術殿堂 8/10～15）  
東 南光
- 第51回毎日展（愛媛県立美術館 8/24～29）  
荒井天鶴・荒井彭仙・永松春苑・岸 潮風・浜 佳香・多田清芳・長原阜鵬
- 水穂会書展（京都市立美術館 8月）  
東 弥生
- 第25回創玄現代書展（東京セントラル美術館 11/2～7）  
浜 佳香
- 第16回読売書法展（高松市美術館 11/18～21）  
勝瀬景流・東 南光・伊丹東龍・上田溪水・近藤聖邨・隅田英二・高田青蓮  
長江頌石・新居藍州・能仁華瑤・古川秀蕙・山口華城・上田輝芳・宇山泰鳳  
河野真流・薄田玲泉・竹内虹舟・長谷美峰・宮守崇流
- 第39回璞社書展（大阪市立美術館 11/23～28）  
東 南光・上田溪水・清水桂月・春藤大耿・東甫白亭・長江頌石・吉田素川  
松本深翠
- 第21回東京書作展（サンシャインシティ文化会館 11/30～12/5）  
田中双鶴・近藤静苑・中尾勝子・春藤大耿・南 溪石

## 2. 中央展・県外展に入賞した人々（社中展を除く）

### ◦ 第40回太玄会書展（東京都立美術館 1/11～17）

- （特 選） 春藤玉秀・弘田長風
- （特 別 賞） 笠井宣江
- （奨 励 賞） 岸田いち子・吉田美恵子
- （新 人 賞） 西 直子・播磨恭子
- （推 薦） 阿部芳雲・阿部博子・金子白雲・福島由佳
- （準 推 薦） 筧 品子・原田千苑・福田雪江・増田恵子・森 恵美  
山本恵子
- （特 選） 井上小百合・大久保廣粹・桐生弘美・詫間勝陽
- （準 特 選） 祖出津岐・阿部敬子

### ◦ 第53回日本書芸院展 2月展・4月展・役員展

（大阪市立美術館・松坂屋 2/15～21 4/6～11 5/11～16）

- （史 邑 賞） 山口華城
- （大 賞） 薄田玲泉
- （特 別 賞） 阿部千明・小松美佳・鳩成青嶂・福永美泉・福家美鵬  
矢部知子・河野真流・倉本恵雨・長谷美峰・松永翠月
- （特 選） 相原美香・伊勢春瓊・黒田清蘭・花本清香・松浦翠篁
- （一科推薦賞） 横山弘美・吉田京湖
- （二科推薦賞） 稲木裕美・大塚美代子・久保香邨・立石燐花・濱口摩利  
藤川幸榮・安原照代・横田典子

### ◦ 第35回創玄展（東京都美術館ほか 3/7～12）

- （一科特選） 丸岡香貞
- （秀 逸） 岩本志豪・木田史香・児玉幸子・佐藤宗香・武樋清香  
平岡幽琴・吉田佐知子
- （二 科 賞） 市原皐亜
- （準二科賞） 大津皐姫・高岡皐女

### ◦ 第15回日本篆刻展四国展（県郷土文化会館 6/4～6）

- （大 賞） 射場博子
- （準 大 賞） 安宅義夫

### ◦ 第16回産経国際書展（東京池袋サンシャイン会館 7/24～8/1）

- （産経大賞） 藤原育代
- （特別奨励賞） 高橋宗見
- （会 友 賞） 井内 愛・宇津清子・佐野チヨミ・笹田真里・高嶋美恵子

- (特 選) 叶井清子・鈴江美音子・豊原淳子  
 (秀 作) 宇多千秋・武市直子・中田須美子
- 第51回毎日展(愛媛県立美術館 8/24~29)  
 (毎 日 賞) 横田素林  
 (秀 作) 佐藤宗香・佐原和清・高岡晃祥・矢野照代・山口幽徑
- 第16回読売書法展(高松市美術館 11/18~21)  
 (読売新聞社賞) 伊丹東龍  
 (特 選) 清水桂月・福永美泉  
 (秀 逸) 島田小園・豊浦春光・福家美鶴・吉田素川
- 第31回日展(東京都立美術館 11/2~24)  
 (無 鑑 査) 勝瀬景流  
 (入 選) 伊丹東龍・東 弥生・宇山泰鳳・薄田玲泉・亀石文苑
- 第21回東京書作展(サンシャインシティ文化会館 11/30~12/5)  
 (特 別 賞) 加藤香都子・西谷香峰  
 (特 選) 富永竹香・魚井香光・木村弘子  
 (優 秀 賞) 詫間勝陽・中村詢子・福田雪江・松永裕子  
 (奨 励 賞) 増田恵子・馬居汀香・富永竹香

# デザイン部

部会長 坂本 三千一

## 年間展望

今年から部会長を引受ける事になった。ちょうど10年前まで6年間を経験しているから二度めになるが決して手腕をかわれたのでない。時間ができたからやれという事だろうと思う。会員みなさんの助けを受けながら頑張っってやっていきますのでよろしく。

県内のグラフィックデザイナーの活動を断片的だが見てみるとJAGDA会員が阿波踊り期間中新町のボードウォーク周辺で「阿波踊りポスター」を展示され好評であった。またポスターギャラリー実行委員会が進めている「ポスターギャラリー（ポスター展示塔）」の活動も注目される。今も国内外の立派な作品が展示されて反響を呼んでいる。

### ◎第8回放美展（5月）

応募点数87点は前回より16点増、放美賞に頭師理恵（池田町）。優秀賞に堀恵理子（徳島市）岡真寿美（徳島市）筒井万貴（徳島市）小泉まい子（徳島市）の4人。無鑑査出品は北島豊嗣（徳島市）。入選数37点、前回より4点増。美協会員の応募者はなく審査員の坂本、浅野、齋藤繁、運営委員の田中、福井の役員出品のみとなっている。新人を入選させるため遠慮したのかどうなのか、どんどん応募してもらいたい。

### ◎平成11年度徳島県秀作巡回展（10～11月）

平成11年度徳島県地方文化振興事業・第3回徳島県民文化祭協賛事業として徳島県環境生活部生活文化国際総室が毎年行っているものです。

出品者は以下の4名。坂本三千一[ECO Poster]、沢口功[Apple]、四十宮隆志[Do be do be do～Beautiful Dreams～]、吉本實[浄化]。・日和佐コミュニティホール・相生森林美術館・勝浦町図書館・山川アメニティセンター・美馬中学校体育館・羽ノ浦町国民総合体育館を巡回した。

### ◎第54回県美術展（11月）

今回も東京からアートディレクターの戸田正寿氏（JAGDA会員）をむかえた。

応募数140点（前年より12点増）賞候補を18点に15、14、11、そして9点の中から、特選[知事賞]に河野利枝（四国大学・藍住町）、細胞の一つ一つを石ころで面白くまた丁寧に表現している。特選・田中嘉奈子（徳商2年・石井町）、発想が自由で才能を感じさせる作品。〈審査員評・抜粋〉高校生の特選受賞は全部門で3人、史上初の快挙と徳島新聞で報じた。準特選は川西正洋、寺本礼子、福島美佳。奨励賞に井上沙苗、齋藤志津子、森本恭子。

会員では応募数8点(5人)、入選4点(4人うち奨励賞1点)。会員数が14と少ない  
がもっと応募しやすい環境づくりが必要かも知れない。

◎第2回徳島県文化協会フェア(H12年1月)郷土文化会館 主催/徳島県文化協会  
第2回徳島県美術家協会選抜展・デザイン部門

四十宮隆志、岩佐雅功、吉本實、齋藤志津子、坂本三千一の5人が出品

◎グラフィックデザイン50

「徳島の観光ポスター展」(H12年3月16日~20日)県立近代美術館ギャラリー

この展覧会は久しぶりの大きな展覧会になった。県美協デザイン部会と徳島レタリングクラブの共催で、徳島県内50市町村、50枚の観光ポスターを市町村が製作した物の展示でなく、依頼を受けず、デザイナーの感性と技術で作品としてオリジナル制作し発表したものです。22名が創った50枚のポスターは貸出しなども考えております。徳島県、徳島県観光協会、マスコミ各社などの後援もいただき、デザイン部会展として位置付けています。

会員消息 (放美展・県展関係は除く。順不同)

■坂本三千一

- 平成11年10月 平成11年度徳島県秀作巡回美術展(県環境生活部生活国際総室主催)  
デザイン部門へECO POSTER(鯉のぼり)出品  
日和佐町、相生町、勝浦町、山川町、美馬町、羽ノ浦町を巡回
- 12月 おはようとおくしま「50円のおかず」(四国放送刊)イラスト担当  
第28回歳末チャリティー作品・色紙即売展(徳島新聞社等主催)へ出品
- 平成12年1月 第2回徳島県文化協会フェア第2回徳島県美術家協会選抜展  
(郷土文化会館)へポスター「DRIVER」出品
- 3月 グラフィックデザイン50「徳島の観光ポスター展」(美協デザイン  
部等主催)が県立近代美術館ギャラリーで開催され、徳島市、三加  
茂町、上那賀町を担当

■坂野美恵子

- 平成11年5月 二科会デザイン部(四国、関西地区)グラフィックアート展  
(高知国際カレッジ)出品
- 8月 第84回二科展デザイン部門へ会友出品
- 12月 第28回歳末チャリティー作品・色紙即売展(徳島新聞社等主催)へ出品
- 平成12年3月 二科会デザイン部70人展「新世紀への視点」(東京アート・ミュー  
ジウム・ギンザ)へ出品

■四十宮隆志

平成11年1月～2月

南北軸6県交流美術展（岡山県立美術館）ヘグラフィックデザイン  
作品出品

6月 「幾原邦彦監督（徳島県出身）を応援する会を発足

8月 映画「少女革命ウテナ」公開記念として制作陣ゲストを招いての徳  
島スペシャルイベントを企画・運営（PR媒体のデザイン監修を含  
む）

10月 平成11年度徳島県秀作巡回美術展（県環境生活部生活国際総室主催）  
にグラフィックデザイン作品出品

4月～10月

第11回徳島デザインドリーム運営参加及び作品（PRポスター、  
DM等宣伝材料制作）

11月 幾原邦彦監督公式サイトをJRTホームページ内に開設（デザイン  
全般と管理運営を担当）

平成12年1月 第2回徳島県文化協会フェア第2回徳島県美術家協会選抜展（郷土  
文化会館）ヘグラフィックデザイン作品出品

3月 グラフィックデザイン50「徳島の観光ポスター展」（美協デザイン  
部等主催）が県立近代美術館ギャラリーで開催され出品

■沢口 功

平成11年3月 徳島市芸術祭美術展（郷土文化会館）へ招待出品

7月 干支展（小松島市やまなみコーヒー店）へ出品

10月 平成11年度徳島県秀作巡回美術展（県環境生活部生活国際総室主催）  
デザイン部門へ作品出品

12月 第28回歳末チャリティ作品・色紙即売展（徳島新聞社等主催）へ出品

■田中 一郎

第14回徳島ジュニアコーラス定期演奏会のポスター、チラシ、プロ  
グラムのデザイン作成

第20回Soleヴォーカルコンサートのポスター、チラシ、プログラム、  
チケットのデザイン作成

■敷島のり子

平成11年7月 世代美術展（徳島市シビックセンター）へ出品

11月 第2回徳島県文化協会フェアのポスター作成



12月 「敷島のり子展」を川島町立図書館にて開催

■斎藤志津子

- 平成11年3月 ニュービジュアル・アート展（県立近代美術館）へ出品  
斎藤志津子イラスト展「Flowers」（ヨンデンギャラリー鳴門）開催
- 4月 斎藤志津子イラスト展「Flowers」（イルローザ小松島店）開催
- 6月 さいとうしづこ個展「Flowers」（花杏豆八万店）開催
- 8月 ファミリー展（ドクターエンドウ鳴門）開催
- 9月 さいとうしづこ個展「Flowers」（森コーヒー店）開催
- 10月 藍美展（藍住町福祉センター）へ出品

■斎藤 繁次

- 平成11年2月 サイトウシゲジイラスト展（ドクターエンドウ鳴門）開催
- 3月 ニュービジュアル・アート展（県立近代美術館）へ出品
- 5月 Tシャツアート（高知県大方町）へ出品
- 8月 ファミリー展（ドクターエンドウ鳴門）開催
- 9月 「阿波アイコン展」（県立21世紀館）へ出品
- 10月 第11回徳島デザインドリーム展（徳島市木工会館）へ出品  
藍美展（藍住町福祉センター）へ出品

■吉本 實

- 平成11年6月 JAGDA（日本グラフィックデザイナー協会）ボードウォークポスター展  
（徳島市新町橋ボードウォーク）に出品
- 8月 JAGDA（日本グラフィックデザイナー協会）阿波おどりポスター展  
（徳島市両国橋演舞場ステージ）に出品
- 10月 第11回徳島デザインドリーム展（徳島市木工会館）へ出品  
平成11年度徳島県秀作巡回美術展（県環境生活部生活国際絵室主催）  
デザイン部門へ作品出品
- 平成12年1月 第2回徳島県文化協会フェア第2回徳島県美術家協会選抜展（郷土  
文化会館）に出品

■福井 章

- 平成11年8月 JAGDA（日本グラフィックデザイナー協会）阿波おどりポスター展  
（徳島市両国橋演舞場ステージ）に出品
- 12月 第28回歳末チャリティ作品・色紙即売展（徳島新聞社等主催）へ出品

■北島豊嗣

- 平成11年1月 干支うさぎ個展（森コーヒー店）開催
- 3月 徳島市芸術祭美術展（郷土文化会館）へ出品

平成11年度 第3回徳島県民文化祭

第54回徳島県美術展（県展）公募規定

区分	部門	日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン																																																				
搬入日		10月17日	10月16日	10月24日	10月17日	10月17日	10月23日	10月17日																																																				
搬入先		徳島県郷土文化会館																																																										
審査日		10月17日	10月17日	10月24日	10月17日	10月17日	10月24日	10月17日																																																				
審査員		内田 あぐり	奥谷 博	高田 誠三	小林 陸一郎	松永 勲	津池 松 金田 永 孝桂 暘 邦風 石	戸田 正寿																																																				
出品料		協会員 1点目 2,500円	その他の方 3,500円		2点目からはすべて 1,500円																																																							
出品制限・大きさ・仕上げ	同左	<ul style="list-style-type: none"> <li>未公開作品に限る</li> <li>点数は制限なし</li> <li>小・中学校在学者は出品できない</li> <li>20号以上額プチふくめタテ、ヨコ1.9m以内、額・枠張り（ガラス・アクリル不可）</li> <li>吊り紐</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>20号以上（水彩は20号以上、版画は10号以上とする）</li> <li>額</li> <li>吊り紐</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同左</li> <li>組・単写真とも画面サイズ、半切以上（カラーは印画に限る）</li> <li>無鑑査以上は画面サイズ半切以上、単写真に限る</li> <li>パネル張り・額（組写真は1パネル（90×180cm以内）に全作品をレイアウトしたもの又は全作品を固定したもの）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同左</li> <li>高さ2m×幅1.5m×奥行1.5m重量200kg以内</li> <li>材料は自由、展示可能なものに限る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同左</li> <li>大きさ制限なし（ただし、平面作品はタテ1.8×ヨコ1.5m以内）</li> <li>木・竹・金工・陶磁・漆・染色・織物・人形・ガラス等</li> <li>展示できる用具をつける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同左</li> <li>半切又は全紙<math>\frac{1}{2}</math>以上、仕上がり面数が1.47㎡（16平方尺）以内、縦・横自由</li> <li>巻子本・帖（40×300cm以内）（例） 61cm（2尺）×242cm（8尺）枠張 79cm（2.6尺）×181cm（6尺）枠張 91cm（3尺）×161cm（5.3尺）枠張 121cm（4尺）×121cm（4尺）枠張</li> <li>半切・全紙<math>\frac{1}{2}</math>・聯落まで額装</li> <li>アクリル入りでもよい</li> <li>無鑑査以上は半切以内</li> <li>部門は漢字・仮名・近代詩文・前衛とする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同左</li> <li>B1パネル横728×縦1,030ミリ</li> <li>厚さ5～75ミリ程度</li> <li>重さ5kg以内</li> <li>課題は自由（実在の商品名・）</li> <li>法的規制に触れないこと</li> <li>吊り紐</li> </ul>																																																				
									<table border="0"> <tr> <td>特別賞</td><td>1点</td> <td>特別賞</td><td>1点</td> <td>特別賞</td><td>1点</td> <td>特別賞</td><td>1点</td> <td>特別賞</td><td>1点</td> <td>特別賞</td><td>1点</td> </tr> <tr> <td>特選</td><td>2点</td> <td>特選</td><td>3点</td> <td>特選</td><td>4点</td> <td>特選</td><td>2点</td> <td>特選</td><td>8点</td> <td>特選</td><td>2点</td> </tr> <tr> <td>準特選</td><td>3点</td> <td>準特選</td><td>5点</td> <td>準特選</td><td>4点</td> <td>準特選</td><td>1点</td> <td>準特選</td><td>13点</td> <td>準特選</td><td>3点</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td><td>3点</td> <td>奨励賞</td><td>5点</td> <td>奨励賞</td><td>8点</td> <td>奨励賞</td><td>2点</td> <td>奨励賞</td><td>3点</td> <td>奨励賞</td><td>3点</td> </tr> <tr> <td>入選</td><td>規定数</td> <td>入選</td><td>規定数</td> <td>入選</td><td>規定数</td> <td>入選</td><td>規定数</td> <td>入選</td><td>規定数</td> <td>入選</td><td>規定数</td> </tr> </table>	特別賞	1点	特別賞	1点	特別賞	1点	特別賞	1点	特別賞	1点	特別賞	1点	特選	2点	特選	3点	特選	4点	特選	2点	特選	8点	特選	2点	準特選	3点	準特選	5点	準特選	4点	準特選	1点	準特選	13点	準特選	3点	奨励賞	3点	奨励賞	5点	奨励賞	8点	奨励賞	2点	奨励賞	3点	奨励賞	3点	入選	規定数	入選
特別賞	1点	特別賞	1点	特別賞	1点	特別賞	1点	特別賞	1点	特別賞	1点																																																	
特選	2点	特選	3点	特選	4点	特選	2点	特選	8点	特選	2点																																																	
準特選	3点	準特選	5点	準特選	4点	準特選	1点	準特選	13点	準特選	3点																																																	
奨励賞	3点	奨励賞	5点	奨励賞	8点	奨励賞	2点	奨励賞	3点	奨励賞	3点																																																	
入選	規定数	入選	規定数	入選	規定数	入選	規定数	入選	規定数	入選	規定数																																																	
（各部門とも特別賞は特選の内数）																																																												
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>落選作品は審査終了後、各部門で決められた日時までに搬出すること。</li> <li>展示作品は一期は11月23日（火・祝）、二期は12月2日（木）の午後5時から午後6時までに搬出すること。</li> <li>所定の期日までに搬出しなない場合は主催者において処分する。</li> </ul>																																																										

第54回県美術展

特別・招待・無鑑査・賛助出品者名

☆ 日本画

(招待)	長尾弘子 中川健 西野和男	村上凌雪 岡英彦 土井洋子	橋本正弘 土方るみ子
(無鑑査)	鶴悦子		
(賛助出品)	森 蕙苑	高田瑞雪	長谷 壽

☆ 洋画

(特別出品)	佐野比呂志	永山隆二	長井公雄
(招待)	清水亟 慎 高橋 敬 服部 裕	川原康 孝 立岩 巖 岡本 征二	楠瀬 敏幸 露口 弘久 長尾 多美子
(賛助出品)	浅田二郎 柏木雅雄 後藤田仁一 岡田 守	天野 節 河田安市 榭田 務	岡崎志郎 黒崎 寛 松川 寛

☆ 写真

(招待)	増田清次 西條征二 武内 亨 酒井博司 森 賢一 前浦芳久 多田晴美 井藤光章	井上光雄 勝西雅夫 笹田敏雄 三好和義 橋本圭祐 荒井賢治 古井 謙吉	木田英之 藤井 梵 櫛 洵 上野 照文 安長 剛彦 林中 敏建
(無鑑査)	増田 寿		

☆ 彫刻

(特別出品)	河崎良行		
(招待)	佐藤隆 鎌田邦宏	濱口 恵 松 永 勉	井下俊作
(無鑑査)	蒔田 寿		

(贊助出品) 長岡 強

☆ 美術工芸

(特別出品) 山上 馨

(招待) 新居 雄介 七条 猪三郎 多智花 佐代子  
松 下 雄 犬 伏 慶 一 森 賢 一  
橘 上 正 典 中 川 存

(贊助出品) 村上 正典

☆ 書 道

(特別出品) 荒井 天 鶴 田 中 栢 翠

(招待) 新宮 藍 州 讚 岐 双 鶴 田 中 栢 翠  
西 青 雨 長 原 泰 泉 高 原 清 泉  
原 南 龍 成 尾 阜 鵬 渡 辺 草 石  
清 霄 月 芝 原 莊 秀 前 川 古 舟  
中 桂 子 美 長 馬 幾 美 勝 藤 大 景 耿  
川 史 虹 三 谷 美 好 近 瀨 藤 景 靜 流  
上 上 虹 日 下 下 好 岡 瀨 藤 景 靜 苑  
荒 田 溪 竹 田 市 和 鳴 鳴 鳴 鳴 鳴 鳴 鳴  
藤 若 彭 武 富 坂 松 薄 三 浦 富 美 代  
佐 藤 美 小 英 乾 青 幽 南 光  
島 田 田 城 田 口  
隅 玉 高 山 東

(無鑑査)

(贊助出品) 東

☆ デザイン

(特別出品) 坂本 三千一

(招待) 浅野 昌 齋 藤 繁 次 坂 野 美 恵 子

(贊助出品) 福井 章

# あ と が き

いよいよ2000年を迎えました。

徳島県美術展も55回を迎えることとなります。県展の歴史にもいろいろな思いがあろうかと存じますが、何よりも本県の美術界の振興と発展に寄与してきたことは事実であったと思います。

一方で長い年月行っているとマンネリ化した面もなきにしもあらずだと思います。今後どのように県美術展があるべきなのか、県民の方々の声を聞いて行く必要もあるかもわかりません。いずれにしても、一人でも多くの県民の方々が鑑賞されるような開かれた展覧会にする必要があるのではないのでしょうか。

放美展は9回を迎えることとなり、定着しつつある感じはいたしますが、将来どのように位置づけるのかを考えなければならないかとも思います。

本年も各部会長から各部の年間活動についてまとめていただきました。表紙については、佐野比呂志会長にいただきました。

会員の皆さんがご健勝で創作活動に励まれますとともに、会員が力を合わせてそれぞれの分野の発展をされることを願っております。

これからも本会がますます発展するよう皆様のご支援をよろしく願います。

平成12年3月

県美術家協会事務局

## 美 術 年 報 2000年

---

平成12年3月30日 印刷

平成12年3月31日 発行

編集者 清 水 博  
装幀者 佐 野 比呂志  
発行人 佐 野 比呂志  
印刷所 原田印刷出版株式会社  
発行所 徳島県美術家協会  
(徳島市名東町1丁目246 清水方)

---